

# 老健 しずおか



静岡県老人保健施設協議会機関誌



撮影：富士 田子の浦

## ご挨拶



静岡県老人保健施設協議会

会長

平田 善章

静岡県老人保健施設協議会が設立され今年で20年の節目を迎えることになりました。当初静岡県では、5施設からの出発で、10年目の平成13年には、52施設となり、今年で20年目の平成24年3月時点では、96施設。協議会未加入施設を入れますと、100施設を超え、この10年間で2倍になったことになりました。高齢者の自然増もさることながら、老健施設の存在価値が一般に認められるとともに家族構成、労働条件などの変化に伴い高齢者の在宅での生活が困難になって来たことも、大きく影響しているのではないかと考えられます。老健施設では元来、急性期病院から在宅への橋渡しとしての中間施設と位置づけられていたはずですが、次第にその理念は変化し、在宅復帰率は漸減し、リハビリだけではなく医療をより多く求められるようになり、長期滞在、看取りまでの機能を持つようになりました。このように多機能化し、今後も一層それをめざす方向性が求められています。高齢化が一層進み統計では、2025年まで今後10年間では高齢者が増加し続けますので、このままで放置すれば、老健施設も倍増しなければならぬ計算になります。さすがにこれでは財政的にも、人材的にも身動きが取れなくなることは、自明の理です。

25年までに地域包括ケアシステムを確立するということで、介護、医療、看護、リハビリなど多職種が集まる老健施設への期待は一層大きくなりつつあります。基本的には、国の施策として、在宅復帰を促し、老健施設を従来の中間施設へ回帰させるとともに多機能化もそのまま残そうという意図がみとれます。在宅復帰とはいったものの、その受け皿が十分でない現状では、非常に困難なことです。在宅支援のなかで、定期的、随時的訪問が充分出来るようにすることですが、地域差もあり何処の誰がどうするのかの構図も明らかではありません。そのうえ今回の介護報酬改定では、物価が下がったという理由で介護報酬もそれに連動して下げられており、介護人材の確保も問題が生じています。

このような、もろもろの困難のなかで、高齢者医療、介護の問題を解決して行かなければならない厳しい時代に置かれています。これまでの右肩上がりの考え方を諦め、たとえ右肩下がりになってもやって行こうという気構えが必要となるかもしれません。医療や介護の制度面だけをいじっていても、決して解決しない事態が来ると予想されます。医療、介護がどうあるべきか根本的なところでの発想の転換を余儀なくされるのではないかと、危惧されるところです。ともあれ老健施設は、今後高齢者の医療、介護の要であり続けなければならないことは明らかですので、我々としてもよりよい高齢者の医療、介護をめざして、知恵を出し合うことが喫緊の課題なのではないでしょうか。



## ご挨拶



静岡県健康福祉部長寿政策局

介護指導課長

岩田 信夫

静岡県老人保健施設協議会設立20周年おめでとうございます。この20年の間、貴会及び貴会会員の皆様には、本県の高齢者保健福祉の推進に御尽力いただき、厚くお礼申し上げます。

平成12年に創設された介護保険制度は、着実に定着してきましたが、我が国は、世界に例を見ない高齢化が進展し、地域社会・家族制度の大きな変容の中で、要介護者の重度化、高齢者のみの世帯の増加など多くの課題を抱えています。その中で、介護保険制度のみならず、社会保障制度の抜本的な再構築が求められております。

このたび、「社会保障・税一体改革」の実現に向けた第一歩として、平成24年度診療報酬・介護報酬の同時改訂が行われました。今回の介護報酬改訂は、①地域包括システムの基盤強化、②医療と介護の役割分担・連携強化、③認知症にふさわしいサービスの提供、④地域包括ケアシステムを支える介護人材の確保といった4つの柱により成り立っています。これは、高齢者が要介護状態となっても、尊厳を持って、住み慣れた地域で在宅を基本とした生活の継続を目指すものであり、具体的には、24時間定期巡回・随時対応サービスなどの在宅サービスや、リハビリテーションなど自立支援型サービスの強化が図られています。

介護老人保健施設についても、在宅復帰型の施設としての機能を強化する観点からの報酬体系の見直しが行われております。その一方で、看取りの対応が強化されるなど、介護老人保健施設には、引き続き多様な役割が期待されております。

さて、県では、地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進にあたり、既に静岡市及び浜松市内の介護老人保健施設の許可や指導等の業務を両政令市に移管していましたが、本年4月1日からは、県が所管していた両政令市内の全介護保険施設・事業所に係る指定・指導等の業務についても移管されました。今後も地方分権の流れの中で、様々な制度の改正が見込まれますが、御理解と御協力をお願いいたします。

最後になりますが、貴会及び貴会会員の皆様におかれましては、高齢者の自立した在宅生活を支える地域の拠点として、益々御活躍いただくようお願いいたします。

## タカネ園

自然豊かな四季の移り変りを感じつつ、タカネ園は開設して21年目を迎えました。「笑顔で挨拶・優しい言葉・早くしっかり気持ちよく」を標語に施設全体で取り組んで参りました。

お一人お一人の気持ちや願いを大切に、職員一同が連携を図り、一丸となって取り組み、ご利用者様だけでなく、ご家族様、各関係者全ての人がここにきてよかったと心から思ってもらえるような施設。

それが「タカネ園」と堂々と言えるような施設にしていきたいです。

毎月趣向を凝らしたイベントの飾りつけ。協力し、達成感がある作品の一部を紹介します。

愛鷹山の麓、駿河湾の眺めもいいですよ。



## リバブル ケア

“自分の家族の一人が利用されている” そんな気持ちで私達全スタッフの思いです。そして明るく、笑顔溢れる家庭的な雰囲気の中で、皆さんが安心と生き甲斐のある毎日を送って頂くのが願いです。

利用者様投稿作品（第2回いきいき川柳大会）

◎今年は何 うれしはずかし 百歳だ

◎混声の 歌声ひびく ケアの窓

◎いちにのさん！ つられて腰が 持ち上がる

スタッフ投稿作品（日頃のケアを通して）

☆起きるとね 違った顔が 見られるよ

☆見つけたい あなたの動く スイッチを



年末恒例・手打ちそば作りー  
昔とった杵柄を若いスタッフの伝授

←リバブル開運おみくじ  
昨日は中吉、さて今日の運勢はどうか？



←ご家族も参加いただいた、少グループ屋上昼食会  
富士山を眺め、頬に心地よい秋風をうけて

作業療法共同製作・貼り絵「ピカチュウ」→  
散歩に来た保育園児が大歓声

## ヒューマンライフ富士

当施設は、平成5年に新富士病院の併設型老健として開設し、現在は195床で運営しています。背後に雄大な富士山を仰ぎ、正面には駿河湾を見渡す静かな環境に位置しており、明るく広く機能的な空間になっております。又、「身体拘束ゼロ宣言」を行い、利用者様の人権を尊重したケアに努めています。

季節の行事やレクリエーションを通して、楽しく穏やかな入所生活を送って頂ける様に援助をしていきます。

老人保健施設の役割、機能の更なる向上に取り組み地域に必要とされる施設を目指します。



## みくりや園

当園は東に箱根、西に富士山と自然に囲まれた場所にあります。ひとたび窓を開けると、近隣の商店街の賑やかさや小学校のグラウンドから子供たちの元気な声が聞こえ、ご利用者の顔も自然とほころびます。

入所定員67名と、施設としては小さな規模ではありますが、その分ご利用者同士、スタッフとの交流も深く、これからも当園らしい温かみのある介護に努め“私もいつかはこの施設に…”と思える環境を提供していきたいと思います。

また、園内には習字・散髪・踊り・アニマルセラピー等のボランティアの方が見え、ご利用者も毎回楽しみにしています。習字では“書く”だけでなく、中には思いのまま“描く”方もいます。そのような時、改めて決められたことだけでなく、その人らしさを大切にして、これからも介護をさせて頂きたいと思えます。





## 安 寧 の 郷

『安寧の郷』は、天城連峰を見渡す伊豆の山郷に位置し、春には桜、秋には銀杏など色や香りを愉しめる自然豊かな環境の中、ご家族や地域の方々のご支援をいただき、開設から今年で18年を迎えることができました。

利用者様には“安寧で夢のある生活”を送っていただくため、豆まきやひな祭り、敬老会など、周りの山木の移り変りに負けない様、施設としても時節に添った行事をご提供させていただいております。

又、クリスマス会や納涼祭では、地域ボランティアの方々のご協力により、潤いのある楽しい時間を過ごしていただいております。



これからも職員一同「一期一会」の精神を基盤とし、「今日傾聴した事は今日の内に解決、提供する事」を常に考え、喜びも不安も利用者様と共感できるスタッフになれる様、努力していききたいと思います。

## 富士ケアセンター

当施設は、豊かな緑に囲まれ、正面に優美な富士山を眺めることが出来る自然に恵まれた環境です。季節に因んだお花見会や夏祭り等、地域の方やご家族と共に移りゆく季節を楽しむ行事を開催しています。

入所定員100名、通所定員60名に対し併設の富士リハビリ病院と共に、利用者様の身体的精神的支援の他、一人一人に合ったリハビリにより、その人の自立を尊重出来るように、多職種で連携した支援を行なっています。

今後も利用者様と家族、地域との繋がりを大切にし、温かみのあるケアを心掛けます。



## 長泉ケアセンター 博寿園

北に霊峰富士、南に駿河湾が広がる環境のもと、今年で開設18年目を迎えます。博寿園は多勢の理学療法士・作業療法士を擁し、大好評を頂いております。訪問リハビリをはじめ、通所リハビリ・在宅介護支援センター・居宅介護支援事業所を併設し、各ご家庭や病院、関係行政機関等と密接な連携を図り、総合的なサービスの提供を行っております。

また、365日24時間休みなく診療を続けている池田病院が隣接している為、医療面においては安心な上に、理事長の池田病院院長の方針で常に生き生きと楽しく毎日を過ごす施設を目指して頑張っております。



## 梅 名 の 里

当梅名の里は、伊豆半島の玄関口である三島市に開設し今年で18年目を迎えます。

「地域と共にくらす梅名の里」を施設理念に掲げ、地域やご家族様とのつながりを大切にすると共に、ご利用者様一人ひとりの価値観や生き方を尊重したサービスの提供に努めています。

また、目くばり、気くばり、心くばりのあるケアを行い、ご利用者様の心豊かなくらしをめざすと共に、皆様から信頼される施設をめざしています。



梅名の里イメージキャラクター  
「こうめちゃん」



## あすなろ

私たちは「一人一人が、熱く優しい心を持ち、豊かな知識を身につけ、日々、技術を磨いて、多職種協働のサービスを提供する」ことをスローガンとして、

- ・利用者の尊厳を守る
- ・安全に配慮する
- ・生活機能の維持改善に努める
- ・適切な医療を提供する

ことを基本理念に掲げ、地域社会の中核となれる施設を目指し、日々努力してまいります。



## おおひら

おおひらは、沼津アルプスのふもとの大平地区に平成7年5月開設し、今年で17年目を迎える入所定員100名（短期入所療養介護含む）、通所リハビリテーション28名の施設です。

季節ごとの行事食を楽しみにしている利用者さまが多く「おいしい」との声も多く聞かれます。「明かるく」「優しく」「温かく」をモットーに、「家庭復帰の足掛かりの場」となるよう職員一同、笑顔でがんばっております。



## ききょうの郷

ききょうの郷では、入所・ショートステイ・通所リハビリテーション・訪問リハビリテーション、併設する訪問介護など、多機能サービスを駆使して、多様なニーズにお応えする体制を整えております。

『自らが受けたいと思う医療と福祉の創造』を理念とし、介護予防から生涯を通じて、個々に合った生きがいを見出せるよう、リハビリにおいても、生活や人生の再生、回復に主眼をおいております。

どんなに年老いても、どんなに障害があっても、なお輝く人生がある。私たちはその可能性と未来を信じ、人生のリハビリに関わり続けます。



## 熱海ナーシングホーム翔寿園

当施設は、熱海市の中でも、風光明媚な伊豆山に位置し、入所者82名・デイケア13名の開設16年目を迎える施設です。熱海は、日本有数の温泉地であり当施設も天然温泉の源泉を有しております。

御利用いただく、お一人お一人の「笑顔」と、御家族の「安心」と「信頼」をモットーに、自立・家庭復帰へのサポートをリハビリテーションを中心に看護・介護・生活ケアを行い積極的に支援いたします。





## のぞみ

伊豆半島の東、風光明媚な地にある「のぞみ」は平成11年に開設、今年で13年目を迎えます。

入所定員は100名（短期入所4名を含む）通所リハビリ20名、併設で居宅介護支援事務所、地域包括支援センターがあります。また、関連（透析）施設として「伊豆のさと診療所」が隣設し、透析加療中の方でも安心して当施設をご利用になれます。

職員・利用者様が一体となって参加する季節の行事やレクリエーションを通して、楽しい中にも穏やかな施設生活を過ごしていただくよう努めています。常に「真心と責任」を心がけ、利用者様の側に立った「安心できる」サービス提供を職員一同、目指しています。



## ラ・サンテ ふよう

ラ・サンテとは『健康』を意味するフランス語です。利用者の方たちが健康でいられるよう、全ての職員が情熱をもってケアに取り組んでいます。

私たちの施設は、三島市北部の高台（芙蓉台）に位置し、北は富士山を、西は駿河湾を望む絶景の場所です。

全ての職種が連携をくみ、在宅復帰・自立支援のための短期・集中的リハビリテーションを展開しています。また「身体拘束ゼロ宣言」を行い、利用者様の人権を尊重したケアに努めています。パワーリハビリテーションによる活動性の向上や、管理栄養士による栄養相談、歯科衛生士による口腔ケアなど介護予防にも積極的に取り組んでいます。リハビリだけでなく、利用者の方たちの生活の彩りと日々のレクリエーションやクラブ活動も活発に行っています。



## 河津おもと苑

例年ですと“河津桜”の見頃でにぎわう当地も、今年は記録的な寒さの影響で、未だ開花できずにいます。

やはりこの時季、一面さくら色に染まったあたり前の景色が未だみられないのは、何とも寂しい限りです。昨年の3月11日の“東日本大震災”に始まり、原発の事故、それに伴う様々の不都合、そしてこの冬の異常な寒さによる、例年になく雪害と我々をとりまく自然界等すべての環境には増々厳しいものがあります。それらに対して、対策が様々な形で出ておりますが、とにかく冷静に対応することが“肝要”なのではと感じています。

おもと苑も“50床”ながら何とか13年目に入りました。今春の介護報酬の見直しも、何とも現場にそぐわないと痛切に感じますが、とにかくお預かりしている利用者様に満足していただける様“初心忘るべからず”をモットーに頑張らねばと改めて思います。



## みゆきの苑

みゆきの苑は、富士宮市のほぼ中央に位置し、交通の便は良く南富士病院前バス停下車1分、富士山を背負った名勝の地に立地しております。

入所定員109床（うち認知症専門棟36床）通所定員70名の、南富士病院併設の施設です。当施設の理念は「明るく、家族的な雰囲気の中で、笑顔と温もりのある療養生活が送れ、利用者の一日も早い家庭復帰をめざした地域に開かれた施設」として、地域の皆様やご家庭とのつながりを大切に考えた運営を行っています。

毎月開く“お誕生会”や四季折々のイベントには、地域のボランティアの方々にご出演いただき、楽しいひと時を過ごしています。



## な ぎ さ 園

なぎさ園は、伊豆半島南端に位置する介護老人保健施設として、平成13年4月に開設し今年で12年目を迎えます。

入所定員80名(1階一般棟50名、2階認知症専門棟30名)、通所リハビリテーション定員20名の施設です。

海と山に囲まれた静かで、暖かい気候の中、「手から手へ心から心へつなげる施設〜心地よい生活空間を〜」をなぎさ園の理念に掲げ、日々スタッフ一同丸となって取り組んでいます。

また、安心と安全を考慮し、地域に根ざした施設として、笑顔あふれるサービスを提供しています。



## し お さ い

しおさいは、平成12年4月に開設し、今年で13年目を迎えます。健育会のビジョンであるクライアントの“心を豊かにする”、そして当施設のモットーである“もう一つの楽しい家”に重きを置いた施設環境の整備に職員一丸となって取り組んでいます。入所定員46名、短期入所定員4名、通所リハビリテーション定員30名、訪問リハビリテーションの施設です。又、急性期の病棟を備えた24時間体制の協力病院「西伊豆病院」が隣接している為、緊急時における援護体制も整っています。今後も老健の理念、役割と機能を基に地域の皆様に『質の高い医療・介護サービス、そして、安心』を提供していきます。



## グリーنز 修善寺

グリーنز修善寺は、平成14年4月に開設し、新年度から11年目に入ります。

伊豆市役所の前に位置し、入所定員100名、通所リハビリ定員30名の施設であり、伊豆市で唯一の老健施設として地域の期待をになっています。

人道、博愛の赤十字精神のもと、ご利用者のお気持ちと人格を尊重したケアサービス、清潔で快適な生活空間、おいしい食事の提供に努めております。

特に伊豆赤十字病院に併設されているため医療面では恵まれています。

今後共地域の皆様に親しまれ、ご利用者にご満足いただけるサービスの提供ができる施設となるよう、職員一同、より一層の努力を重ねてまいりたいと考えております。



## ひ ろ み

当施設は“自分が利用したいと思う施設を目指して”というひろみの理念のもと看護・介護の行き届いたケアサービスの提供を目標にしています。

特に、ご利用者一人一人の状態に合わせたリハビリテーションでは、理学療法士・作業療法士のリハビリスタッフを中心に各職種が連携して個別リハビリ及び集団リハビリに力を入れています。転倒予防体操、療養音楽、すわろビクス、作業療法、学習療法、筋力トレーニング(CGT)を実施しています。又、希望者にはぬり絵や手芸等で余暇時間を過ごしていただいています。

年老いても、たとえ障害があっても明るく活気ある生活を送っていただけます様に、職員一丸となって努



力していくつもりです。



## 椎 路 の 里

当施設は、開設10年目を迎えます。毎朝私達職員は、就業前に簡単な体操と職員の行動指針「笑顔で挨拶、優しい言葉・・・」等を元気な声で斉唱して仕事を開始しています。今年も、新年会、



どんど焼き

どんど焼きと一年の年間行事がスタートしました。どんど焼きで焼いて作ったみたらし団子も、利用者の常食、刻み、とろみ食等の摂取状況に合わせて準備をし、一年の無病息災を願いながら皆で楽しく味わう事が出来ました。四季を通じ園芸屋外活動（お汁粉、野立て、流しソーメン、スイカ割り、焼き芋大会等）を、目で舌で肌で味わう事が数多くあり、各職種・職員が一致協力して行っています。又椎路の里には、果樹園や作業療法で管理する花やハーブ・野菜等の花壇もあり、外に出る機会も



流しソーメン

多くなっています。施設内外の取り組みを、安全に日々楽しんで頂けるよう、今年も取り組んでまいります。

## サ ン 静 浦

介護老人保健施設サン静浦は平成14年の開設から今年で10年を迎えました。その間明るく家庭的な雰囲気大切に、ご利用者様の意志と人格を尊重して少しでも自立した生活ができるよう支援してまいりました。

これからも職員全員が温かい気持ちを持ってご利用者様のため、安心して心豊かに暮らせる施設づくりに努めてまいります。

また利用者様の生活機能の向上と自立能力を高め、家庭生活への復帰を目指すとともに快適な生活の場となりますように、ご家庭と地域と連携を図りながら、ご利用者様のお手伝いをさせていただきます。



## みしゅくケアセンターわか葉

みしゅくケアセンターわか葉は、東名裾野病院の併設施設として、平成15年11月に開設しました。

雄大な富士の裾野に位置し、一般棟54床、認知棟46床、通所リハビリテーション定員40名の施設として、地域の皆様に支えられ9年目を迎えました。

各専門スタッフの下、利用者様の持てる力、残された力、秘められた力を生かし、個別リハビリや生活リハビリを通じ、生活自立支援に努めております。また、毎月の行事食の提供や、季節行事は利用者様に喜ばれております。

家族や地域との結びつきを大切に、利用者様に合ったケアが提供できる様、目指しております。



## 夢 の 樹 の 郷

『夢の樹の郷』は東洋一の湧水量を誇る柿田川が近く、霊峰富士がすそのまで眺められ、景観や自然に恵まれた場所に位置しています。

この恵まれた環境の中、医師を中心に各職の専門性を生かしてご利用者様の生活援助をさせていただいております。また一年を通してご家族様や地域の皆様のご協力をいただきながら、納涼祭、クリスマス会、餅つきなどの催しを行っています。また暦ごとの行事食で四季を感じたり、職員と一緒におやつを作ることによって昔を懐かしんだり、楽しい時間を満喫できるよう趣向を凝らしています。

職員一人ひとりがご利用者様から学んだ知恵や考え方を大切に、「今日のことは今日して差しあげる」ことで、『夢』を見ながら笑顔で生活ができる空間を創作できればと考えています。





## みはらし

伊東市介護老人保健施設みはらしは、平成18年4月1日に伊東市が開設者となり、公益社団法人地域医療振興協会が指定管理者の指定を受け開設し6年が経ちました。



施設の利用定員は、一般入所85名、認知症40名(短期入所含む)通所リハビリテーション30名となっております。

内部空間においては、曲線廊下で家庭的な雰囲気を演出できるようS字型の形状になっています。施設の理念「利用者の皆様の個性を尊重し、安全に配慮しつつ生活機能の維持・向上を支援し、在宅での自立を支援します」のとおり温泉を利用した個別浴、個別リハビリ、栄養マネジメントに重点を置いた利用者一人ひとりに合った介護計画を基に、常に安心に心がけ、ご利用される皆様が生き生きとした在宅生活を送れるように、地域の皆様のご協力のもと自立に向けて共に支援してまいります。

## いかる野

いかる野は、富士山の麓、白糸の滝上に位置しており、今春7年目を迎えます。

入所は定員100名、通所は定員40名で施設内に居宅介護支援事業所フジヤマがあります。

“自分の家族の一員が利用されている”こんな気分で毎日ケアに取り組んでいます。

地域に根ざした信頼されるサービスを提供し、日々努力していきたいと思います。



(車イスダンス・皆さん若かりし頃の思い出彷彿)



(流しソーメン・皆さんお腹いっぱい涼味を堪能)

## いとうの杜

いとうの杜は、医療法人啓仁会が平成18年11月に開設し、今年で6年目を迎える、入所定員135名(内、認知症専門棟32名)、短期入所専門棟22名、通所リハビリテーション定員60名の施設です。JR伊東駅から徒歩2分の場所に位置し、青い海と緑の木々に囲まれた、生活の利便性と自然が融合した恵まれた環境にあり、その中でご利用者様お一人お一人に合わせたリハビリやケアに取り組んでおります。日々のレクリエーションの他、毎月行われる季節行事、地域の皆様をご招待しての夏祭り等のイベントも積極的に行っており、また、通所リハビリテーションでは温泉浴も取り入れております。

当法人の理念である「この街で、安心・生きがい・感動づくりを」をモットーに、施設サービスと在宅サービスの他に、居宅介護支援事業所や訪問介護ステーションも併設し、入所前から退所後のサポート迄させて頂いております。

これからも、地域の皆様に親しまれ、ご利用者様・ご家族様にご満足頂けるサービスを提供できる施設となるよう、職員一同、より一層の努力を重ねてまいります。



## ふれあいの下田

平成18年に入所70床でオープンいたしました、平成23年4月に増床を行い100床として新たなスタートをきりました。

通所リハビリテーションは定員30名であり、入所と合わせ、1人でも多くの利用者様に介護保険の素晴らしさを体験して頂けるよう、日夜努力をしております。

下田市唯一の老健として、介護保険を通し様々な形で地域に貢献をし、高齢化の進む伊豆地域を少しでも明るく、快適に出来ればと願っています。





## かぐや富士

美しく雄大な富士の山。その山に育まれた壮麗な景色が望める位置に「かぐや富士」はあります。

当施設は入所定員90名、通所リハビリテーション40名に居宅介護支援事業を加えた開設4年目を迎える施設です。

趣向工夫をこらした季節ごとのイベント・レク・リハビリの充実。もちろんボランティアの方々の訪問など地域のご協力もあり、広く明るい開放感あふれる館内には優しい時間がいつも流れています。

そのような中で利用者との心と心の通い合った介護を提供できるよう、そして家庭的な雰囲気の中で利用者の自立の支援ができるよう、笑顔いっぱいの活気ある、安心してご利用いただける施設をめざして、職員一丸となり初心を忘れず努力をしていきたいと思ひます。

今後ともよろしくお願ひいたします。



## サンビューみしま

サンビューみしまは、平成13年に三島社会保険病院の併設型老健として開設した入所定員100名、通所リハビリテーション定員40名の施設です。箱根西麓高台に位置し、富士山・駿河湾が一望できる恵まれた環境にあります。併設病院と共同の無料シャトルバスが三島駅と伊豆箱根鉄道の三島田町駅から運行しています。

季節にあった行事やクラブ活動を通じて御利用者様に楽しんでいただけるように努めています。毎年、納涼祭では三島中島八坂太鼓や地元のシャガリをご披露いただいたり、敬老会では地元保育園の園児にお越しいただくなど地域との交流も大切に、地域社会から信頼される施設を目指しております。

▼敬老会



▲節分の豆まき

## 新富士ケアセンター

当施設は富士市街と駿河湾を一望でき、北側には霊峰富士が聳え立つ場所に位置しております。

入所定員は104床（短期入所療養介護含む）で、「等身大のいのちと誇り」をモットーに、比較的介護度が重度な入所者に対し、木目細やかな質の高いサービスを提供しています。医師をはじめ各職種スタッフが定期的に集まり、話し合いを通じ連携をとり、併設となる新富士病院の協力を得て培った知識と経験を基に、入所者の方々により安心して自分らしい日常生活を送れる様に支援をしています。

新富士病院以外に同一敷地内には、介護老人保健施設ヒューマンライフ富士と、在宅部門があり、協力体制を生かして「入院入所から在宅、医療から介護まで」と幅広いサービスを提供できることで、より良いサービスを選択して利用できるシステムとなっています。

今後も向上心と日々の努力を忘れず、入所者の満足

度向上、そして、地域に愛される施設を目指します。



## あしたかケアセンター

当施設は介護療養型老人保健施設として開設し、今年で4年目を迎えます。従来型老健施設と比較して、一定の医療的ニーズがあっても対応できる機能を備えています。そのため平均介護度は4.5と重度の方の受入れが多くなっており、ターミナルケアの実施も行っています。「高齢者を敬う その人間性を重んじる」という法人の基本方針を基に、利用者の視点に立った家庭的な生活環境を提供できるよう努めています。施設入所定員75名通所リハビリテーション定員40名をはじめ、居宅介護支援事業所も併設しております。今後も地域福祉に幅広く応えていけるような施設を目指していきたいと思ひます。



## あかつきの園

利用者が重度化している中でますます個々にあったケア、取り組みが求められています。職種間での連携を特に大切にしています。リハビリ職員の気が付いたことを相談員により現場の看護に相談し、本人・家族も交えて検討することがあります。食事に関して量・好みにもできるだけ対応できるように、看護より栄養士に相談しています。利用者本人のご希望を少しでも叶えられるよう全職種でケアに関わっています。認知症の方がますます増えており、進行する中で対応を日々検討し、状態によっては母体の精神科への入院、良くなれば再入所していただき連携を密にしています。

リハビリでは毎月、季節に合わせた作品を展示しており、紙を貼る・丸める・色を塗るなどいろんな工程の中には苦手な所・麻痺で片手しか使えないため大変な所がありますが、それぞれのできるところで参加していただき大勢の力で一つの作品を作っています。他利用者・家族に読んでいただきたいと選んだ新聞記事を大きくして飾っている方、遠方から2ヶ月に1度面会に来る家族への感謝を込めたメッセージつきの作品を飾っている方もおられます。そういった作品を作り展示することで毎日の生活の役割・楽しみとなればと思っています。利用者・ご家族にとって居心地の良い温かい施設でありたいと思っています。



## ケア・センター瀬名

ケアセンター瀬名は、平成元年に静岡瀬名病院の併設施設として、竜爪山を望み閑静で緑豊かな環境の中でスタートしました。静清バイパス瀬名ICから車で10分の距離に位置し、交通アクセスも便利です。

ケアセンター瀬名では、入所者及び通所リハビリテーションの通所者向けに、様々なクラブ活動を行っています。書道、貼り絵、カラオケといったクラブの他に、フラワーアレンジメント教室など専門の講師によるレクリエーションも行っています。

また最近では、体の深い部分にある筋肉（インナーマッスル）を鍛える事により、体幹機能の向上を目的にする新しいリハビリプログラムをはじめました。このインナーマッスル達は、主に姿勢を細かく調整したり、関節の位置を正常に保ったりするという働きをしています。要支援及び同レベルの運動機能をお持ちの方を対象に、体幹機能向上を目的としたマット運動等のプログラムを実施しています。これからも充実した介護サービスの提供を目指し、地域に根ざした施設運営をしていきます。



## 焼津ケアセンター

入所定員150名（うち認知症専門棟36名）の施設です。日常生活のリハビリはもちろん、理学・作業療法士・言語聴覚士による専門的なリハビリもおまかせください。

認知症専門棟は、認知度が重度の方（徘徊や異食行為、意志疎通困難等）でも生活していただけますよう援助させて頂いております。看・介護職員68名、リハビリ職員10名、医師、薬剤師等合わせて110名の職員が利用者様の為に何ができるかを常に考え、笑顔があふれている施設です。県内でもめずらしい、プールリハビリもごございます。



## ケア・センターひまわり

ケア・センターひまわりは、平成5年に開設し、入所100床、通所リハビリテーション20名、居宅介護支援事業を行っている施設です。

当施設では、「明るい雰囲気の中で、住み慣れた自宅へ復帰」をテーマに、併設している滝戸医院と共にご利用者様、ご家族様に満足して頂けるサービスを目指します。

季節ごとのイベント、日々のレクリエーション、リハビリ専門スタッフによる機能訓練、生活リハビリなどを行い、ご利用者様が明るく楽しく生活して頂き多くの方にご家庭に戻られるよう取り組んでいます。

また、ご利用者様からおいしいと評判のお食事は、ご利用者様一人一人に合ったカロリーや食事形態等を検討し、安全に召し上がっていただけるようスタッフが心を込めてお食事を作っています。





## サンライズ大浜

当施設は、平成8年に開設し今年で17年目を迎えます。サンライズ大浜の理念「ご利用者様のかけがえない人生と人間性を尊重し、暖かい心で、ご満足いただける質の高いケアをご提供します」をモットーに医師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、介護支援専門員、看護・介護の職員等がすべて協力し、ご利用される皆様の日常生活への復帰を目標にサポートさせていただき、ご利用者様ならびにご家族の皆様により良い環境でお過ごしいただけるよう努力してまいります。

また、アクティビティーの充実にも力を入れており、恒例の秋祭りをはじめ、動物園や水族館見学、外食ドライブ等の屋外活動も行っております。お問い合わせや施設見学等のお申し込み・ご質問など、お気軽にお電話下さい。



▲外出ドライブのひとつです！

## コミュニティーケア高草

高草山の麓、梅や桜などおおくの花木に囲まれた環境の中に位置するコミュニティーケア高草は、今年で開設16年目を迎えます。入所定員は84名で、通所リハビリテーションは115名の施設です。毎月の行事やレクリエーションも四季折々の季節を感じながら楽しく時間を過ごすことができます。

理学療法、作業療法、言語療法などのリハビリテーションに加え、安全に美味しくお食事を召し上がっていただくことを目指して、言語聴覚士による食事前の嚥下体操や口腔機能向上のリハビリテーションが行なわれております。また、介護予防事業としての運動機能向上プログラムや口腔機能向上プログラム等の2次予防事業も行なわれております。



お問合せや施設見学のお申し込みなど、お気軽にお電話下さい。

## こみに

私たちの施設は緑の山々に囲まれたのどかな場所にあります。平成9年4月に開設され、今年で16年目を迎えました。

入所定員が一般棟100床、認知症棟86床、デイケアの定員が75名。居宅介護支援センターと訪問看護を併設しております。

こみにではご利用者楽しんでいただく為に、夏の納涼祭、冬の元旦祭をはじめとする様々なイベントや、音楽療法、押し花、動物介在等多くのクラブ活動を実施しています。

娯楽設備も充実しており、パチンココーナーや麻雀コーナー、一般の方も利用可能な喫茶店やカラオケもあり、ご利用者に楽しく生活し、ふれあいの機会を多く持たせていただくように職員一同、日々工夫しております。



## 楽 寿

当施設は、病状安定期にある方、認知症で家庭での介護が難しい方等を対象に、医師による健康管理、リハビリテーション、レクリエーション、入浴等の看護・介護サービスなど、家庭での生活を可能にする為の各種サービスを提供します。特養、ケアハウス、地域包括支援センターをはじめとする楽寿の園高齢者総合福祉エリアの各施設や、居宅事業及び行政、医療機関等との密接な連携により、お年寄りの状態に沿った適切な介護等の調整を図ります。また、ご本人様やご家族様の相談に応じ、様々な情報を提供するとともに、退所後の万全なアフターケア体制を整えています。

また、ご利用者お一人おひとりを尊重し「その人らしい生活」が送れるよう、質の高い日々のケアに心がけております。穏やかな時の流れと温かく家庭的な雰囲気の中で、心豊かにすごしていただけるよう努力しております。



## カリタス・メンテ

当施設は、入所50名、通所20名と規模の小さな施設ではありますが、肺炎の繰り返し・難治性心不全などの要介護者の方々への緩和的ケアに取組み、日々の生活を大事にした“穏やかな看取り”を念願においた終末期ケアを始めて7年目となります。「最後まで口から食べる」を支え、ご利用者様やご家族様が悔いのない終末期を過ごせるよう、また住み慣れた地域で、ご利用者様とご家族様のふれあいを第一に考え、穏やかで安心できる生活をおくれるよう日々努めております。

通所リハビリテーションでは、パーソン・センタード・ケアをサービスの原点とし、心の通い合える、温かみのあるケアを心掛け、笑顔の絶えない時間を仲間と共に過ごせるよう支援しております。また、昨年より新たな取組みとして「高齢者の言語生活を維持・向上するためのリズムカル運動」の共同研究参加と導入を行い、失語や口腔機能の改善に繋がられるよう努めております。



## ケアセンターゆうゆう

ケアセンターゆうゆうは、平成9年に焼津市の南部に位置する田尻に設立され、今年で15年目を迎える入所97床、通所リハビリテーション100名の施設です。

ゆうゆうはその名の通り『悠々』『湯々』『友々』『遊々』の意味が込められており、地域の皆様との結びつきを大切に、利用者が楽しく生活できる施設として心通うケアを目指しております。

入所施設では、看護・介護・リハビリを必要とする要介護者の方が、自立して一日も早く家庭復帰できることを目標に各職員が、日々がんばっております。

通所リハビリテーションでは、ご本人、ご家族様のニーズや状態を考えたりハビリプログラムを計画的に実施し、自立支援のお手伝いをさせていただいております。



## エコトープ

当施設は、近くにSLで有名な新金谷駅、国道一号「大代IC」、新東名「金谷IC」等があり交通の便がよく、また、緑豊かな山々に囲まれた落ち着いた環境にあります。施設の規模は、入所定員150人、通所リハビリ40人で居宅介護支援事業所も併設しております。明るく広い館内では、ご利用者がゆったりと過ごされており、四季折々の、ひな祭り、七夕、夏祭り、運動会、クリスマスなどや近隣農園等での野菜の栽培・収穫はたいへん喜ばれ好評を得ております。今後とも、御利用者や地域の皆様から信頼され、心のかよい合える温かいケアの実践に全職員心を一つにして取り組んでまいります。



## グリーンヒルズ 藤枝

当施設は藤枝市の北部郊外にあり、瀬戸川の清流と緑豊かな自然に恵まれ、聖稜リハビリテーション病院を母体とし、施設入所（短期入所療養介護を含む）100名、通所リハビリテーション75名の定員にて、医学的管理の下、訓練士による個別のリハビリ、レクリエーションメニューも多数実施しております。

看護・介護その他必要な医療や個別計画による在宅復帰、在宅生活継続を目指して日常生活上の支援も行ってまいります。

このほかに、訪問介護、訪問リハビリ、居宅介護支援、地域包括支援センター、通所介護事業サービスを提供しております。

平成23年10月に、藤枝駅のすぐ南に、通所介護まちのかろやかリハグリーンヒルズ藤枝を開設いたしました。通所介護まちのかろやかリハは、トレーニングマシン、健康運動わくわく体操等により、午前・午後の半日対応型サービス事業を提供しております。





## アリス草薙

当施設は平成11年11月11日の開設。利用定員は入所（短期入所を含む）100人、通所80人。整形外科医院を母体とし、リハビリに力を入れています。施設内は活気に満ち、玄関から足を一歩踏み入れると、通所フロアからご利用者と職員の元気な声が迎えてくれます。

施設建物前の駐車場に続く坂の上り口に昨年暮れ、当施設の新しい看板がお目見えしました。その看板の横に大きな石が置かれていますが、この石は国家「君が代」にもうたわれる「さざれ石」です。当施設の医療法人社団博恵会理事長が「千代に八千代に過ごせる様」にとの思いを込めて、設置しました。

さざれ石は、石灰石が長い年月の間に雨水で溶解され、そのときに生じた粘着力の強い乳状液が次第に小石を凝固して、だんだん巨石となり、河川の浸食作用で地表に露出したものです。

さざれ石のように、長い年月を重ねながら、着実に発展していく施設になりたいと、誓いを新たに新しい年に臨んでいます。



## アポロン

介護老人保健施設アポロンは、今年で14年目を迎えます。施設入所をはじめとして、短期入所・通所リハビリ・訪問看護・訪問介護・居宅介護支援を併設し、在宅復帰はもちろん在宅生活を総合的にフォローするサービスの提供に努めています。理念の「やすらぎとぬくもりが伝わる心からの介護」を目指し、職員が一丸となって利用者様個々の状態に合わせた介護を実践しています。

昨年5月には梅の花香る島田市伊太地区に県内でも初となるサテライト型の小規模介護老人保健施設を立ち上げました。また認知症デイサービス・小規模多機能型居宅介護・グループホームを併設し、認知症のある方でもいつまでもなじみの地域で安心して生活していけるように支援しています。

今後も利用者様・ご家族様・地域の皆様との交流を大切にし、地域に愛される施設を目指していきます。



## はるかぜ

「はるかぜ」も介護保険とともに12年を経過し、大きな節目の年を迎えます。老健としての本来果たすべき役割、すなわち、必要な医療、看護や介護、リハビリテーションの提供を通じて、在宅復帰を促進します。

2年前から始めた自立支援の活動－利用者や職員が一体となった活動－水分補給（1日1500mL）・食事・排泄・運動歩行－を、毎日実践し、安心して自立した生活ができるよう支援していきます。在宅復帰の目標を掲げ、一日でも早い在宅復帰に向けた支援をしていきます。

地域一番の質の高い介護サービスの担い手として、施設サービス及び在宅サービスの提供を行い、家族や地域の方々・機関と一体となったケアを行っていきます。利用者が「おだやかに、ぬくもりある」（はるかぜの経営理念）生活を送れるための手助けができるようサービスの向上に努めていきます。

大変厳しく不透明な時代ではありますが、明るい未来

を目指し、老健としてのあるべき姿の実現に向けて、はるかぜ職員一同、明るく・元気に努力をしてまいります。



## 萩の里

今年で13年目を迎える当施設は、施設入所100床、通所リハビリテーション85名をはじめ、短期入所療養介護・訪問看護・居宅介護支援事業所の運営を行っております。また、同法人で療養型病院・訪問介護・障害福祉サービス事業所の運営も行い、医療・介護・福祉の3本柱で総合的なケアサービスをご提供しております。更には、昨年6月に、デイサービス、訪問リハビリを開設し、より地域に密着した医療法人を目指しております。

そして、医師、看護、介護、リハビリ等様々なスタッフが利用者様のために一丸となり、皆様に質の高いサービスを提供してまいります。

常に利用者様の笑顔を追求し、快適な生活を送って頂くためにも、ぜひ萩の里のリハビリ、カラオケ、大浴場をご利用下さい。



## 葵の里

今年も「葵の里」の裏に広がる密柑山に、みかんがたわわに実をつけ、その変わらぬ彩りが利用者様の心を癒してくれています。

葵の里も開設して12年目の春を迎えました。手探り状態だった当初の多くの問題を何度も議論しあい、一つずつコツコツと地道に努力し片付けてきた賜物が現在のスタッフの質や技術のレベルアップにつながっております。これからもQOL向上のため試行錯誤を繰り返しながら、多彩な行事を通してやすらぎのある生活を過ごされ、満足していただけるよう努めてまいります。

また、地域と家族とのつながりを大切にしながら地域に信頼され、愛される施設として医療・福祉サービスを提供し続けていきたいと思っております。

今後ともよろしくお願い致します。



## きよみの里

興津川の海沿いにある高台に位置し、清水の街並みや駿河湾を一望できる明るく、広々とした施設です。広大なリハビリ公園ではJA女性部や地元自治会の協力をいただきながら、季節の草花や農作物を育てており、地域の幼稚園児とともに収穫を楽しむことが出来る施設となっています。

サービス提供の内容は、入所・短期入所（ショートステイ）100床（うち認知症棟40床）、通所リハビリテーション（デイケア）定員55名、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所になります。



## あみ

当施設は静岡市街地から安倍街道を北へ車で15分程の所ですが、この度、静清バイパスの4車線化および賤機トンネルの開通、更に新東名のインターチェンジが近くに設置されるなど交通アクセスが整備されつつありますので、サービス提供範囲も拡大され、中距離の地域の皆様にも大いにご利用いただける様になりました。

介護老人保健施設「あみ」を始め、通所リハビリテーション、訪問看護、居宅介護支援、短時間のリハビリ中心の通所介護の各事業部門が、更に、それぞれの特異性を活かした介護サービスを提供しておりますので、お困りの節は、気楽にご相談いただきます様お願い致します。

施設の周囲は、みかん、ぶどう、いちじく、しだれ桜など四季折々の味覚、香りを味わったり、鑑賞される等、季節感に触れながら、多職種協働で行うサービスの提供を受けて頂いております。

これからも、各専門職の職員が日々研鑽を重ねて、ご利用者様、ご家族様そして地域の皆様にも信頼される施設、事業部門を目指して参りますのでよろしくお願い致します。



## 芙蓉の丘

開設12年目を迎える芙蓉の丘は、地域住民の方々に広く開かれ、利用者様が健やかに過ごすことができる施設を目指しています。

初夏には施設の周りに芙蓉の花が咲き、また明るい光の差し込む中庭は、季節の花々や水辺の植物、魚や蛸を観ることができ、利用者様に憩いの空間を提供しています。夏祭りや節分など季節毎に行事を行い、行事にちなんだ食事にも利用者様に好評です。

リハビリ面においては、パワーリハビリや体操等筋力トレーニングだけでなく、計算や漢字ドリルなど脳力トレーニングも行なっています。

芙蓉の丘は、利用者様が明るく楽しく生活できるよう、身体・精神面を職員一同サポートしていきます。





## さ く ら

今春10年目を迎えるさくらは、島田市と藤枝市の境にある一般棟90床、認知棟60床、通所リハビリテーション40名の施設です。

四季折々の行事やレクリエーションなど、日々の生活を楽しんで頂けるよう職員一丸となって取り組んでおります。今回はおやつレクリエーションを紹介します。

中でも、一番人気は「チョコフォンデュ」です。刻んだ果物やマシュマロ等を竹串に刺して、ご利用者様自身でチョコフォンデュ液のチョコをつけていただきました。その場ですぐ召し上がられて「おいしい!!」と何本もおかわりされる方が多くみられました。おなかも心も充分満たされ、本当に作る楽しみと食べる楽しみを味わっていただくことができました。

ご利用者様に日々の生活を楽しんで頂けるよう、選ばれる施設づくりに一層の努力を重ねていきたいと思っております。



## コミュニティケア吉田

入所・通所を問わず、コミュニティケア吉田を利用される皆様が、安心して楽しく穏やかに過ごすことができるよう、陶芸や園芸、音楽療法や料理教室等々の多種多様な活動を企画・実践しております。また、介護予防事業だけでなく、防災訓練等の地域活動にも積極的に取り組み、「地域に開かれた施設」として活動しております。

今年は開設10年目を迎えます。より多くの方々に利用していただき、より多くの方々が安心して穏やかに生活できるよう、そして地域の方々の大きな支えとなれるよう、様々な活動に取り組んでまいります。



## フォレスト 藤枝

当施設では「信頼・安心できる思いやりのある医療・福祉環境づくり」を理念に掲げ、手厚く細やかな介護、充実したリハビリテーションを目標としています。リハビリについては、利用者様の心身機能の維持回復はもちろんのこと、一人一人に適したプログラムを組むなど個別重視の訓練を提供しています。

その他、季節に合った様々な行事を行っています。8月には駿府夏祭りを開催し、地域ボランティアの皆様のご協力のもと、大道芸、和太鼓、学生吹奏楽などの催し、夜店を多数並べて盛大に行っています。皆様是非お越し下さい。



## マ イ ン ド

マインドは平成15年11月に開設した入所者150名（一般棟102名、認知症専門棟48名）、通所リハビリ40名の施設です。心の通い合える温かみのある介護施設として、多職種の職員が協働・連携して、ご利用者の多様なニーズに応えられるよう日々努力を重ねております。

毎月開催するお誕生日会や地域のボランティアの皆様方にもご協力をいただき、いろんな催し物を提供する中、毎日楽しく和やかに過ごしていただいております。

これからも、家庭的で安心して生活できる環境づくりを心がけ、より地域に根差した施設となるよう努めてまいります。



## ケアセンター池田の街

「ケアセンター池田の街」は静岡市の中央に位置する東静岡地区に平成17年4月に開設した入所定員110名・通所リハビリテーション定員40名の施設です。

四季を通じ様々な花が咲く屋上庭園や窓から見える富士山や日本平の眺望など、交通至便な街中にありながらも、喧騒を忘れ穏やかに癒される“都市型”老健施設です。

ご利用者様には、笑顔のたえない明るい雰囲気の中で、活力と安心を感じられる日々を過ごして頂くため、生活状況に沿ったリハビリを重視し、季節の行事や各種のイベントなど楽しみながら心身機能の維持向上を図って頂ける様、配慮しております。

今後も「やさしさで支えたい、守りたい」の理念のもと、常にご利用者様の視点に立った温もりあるケアの提供を目指し、一層の努力を重ねて行きたいと考えております。



## かりん



介護老人保健施設かりんは、静岡市丸子地区、宇津ノ谷峠の山々に囲まれた緑豊かな環境の中にあり、入所100床・通所リハビリテーション40名のサービスを提供しております。

かりんでは、利用者様が季節を感じ、毎日を楽しく過ごして頂けるよう、春はお花見、夏は七夕飾りなど、一年を通じて様々なイベントを催しております。毎年恒例となったクリスマス会では、新たに利用者様によるハンドベル演奏も加わり、大いに盛り上がる会となりました。また、先日は“寿司バイキング”を行いました。たくさんの種類のお寿司を前に皆様「アレも食べたい」「こっちもおいしそう」と迷いながらも楽しそうに召し上がっておられました。さらに、通所リハビリには本格的な回転寿司が登場し、まるでお店にいるような中、こちらも楽しい時を過ごされました。

このようにこれからも利用者様ご家族様に喜んで頂けるよう、常に創意工夫に努めていきたいと考えております。



## ユニケア岡部

1階に定員50名の通所リハビリテーション事業部があります。心身機能別に3つのデイルーム（ユニット）に分け“なじみの関係”を大切にしながらリハビリを行なっています。

昨年度から、介護度の高い方の楽しみとしてアロマを使った足浴を取り入れてきました。香りの良い芳香浴空間をつくり、冷えの改善はもとより、アロマセラピスト資格を持つ職員のフットマッサージによる、むくみの改善とリラクゼーション効果が得られています。

こうした効果は帰宅後の心身状態の安定にも繋がっており、ご本人だけではなくご家族からも好評です。アロマセラピスト資格を持つ職員から講習を受けながら、他の看護・介護職員も熱心に取り組み定着してきました。身体機能訓練だけではなく、心にも潤いの持てる事業所をこれからも目指していきたいと思っております。



## 鶴舞乃城

～その人らしい生活にお応えします～

鶴舞乃城は、清水インターから北へ車で約5分程の場所にある小高い山の中腹に平成19年4月1日に開設しました。

現在、入所100名（短期入所療養介護を含む）通所リハビリテーション70名、居宅介護支援事業所を運営しております。

その方らしい「生活習慣」や「こだわり」を大切に、一人ひとりの状態や目標に合わせたケアを行います。

年齢を重ねれば誰にでも起こりうる心や身体の機能障害を個性ととらえ、ご本人様はもちろんご家族の皆様にも安心していただける介護を目指しています。





## 西山ウエルケア

西山ウエルケアは気持ちのわかる親切、和やかな雰囲気、清潔を基本理念とし地域に根差したサービスを提供してきました。

レクリエーション、クラブ活動では充実した入所生活が送れるよう専門スタッフを配置しております。

通所リハビリテーションはリハビリに特化した短時間型にリニューアルし2年目となりました。ニーズに合ったサービス提供により少しずつではありますが利用者也増えてきている状況です。「リハビリ」というニーズはこれか後も増えていくと予測されます。

昨年は本院であります西山病院が開院30周年を迎えることができました。病院内保育園も開設され職員が働きやすい環境作りにも力を入れています。これからもサービスの質の向上を目指し、入所者、利用者が満足いただけるよう努力していきます。



入所者の粘土クラブ作品

## エスコートタウン静清

医療法人アール・アンド・オーグループのエスコートタウン静清では、充実したリハビリテーション体制で、在宅復帰を目指し、リハリステイ、個別リハビリ、アクティビティに取り組んでいます。

季節を感じるイベントも積極的に行っており、夏の納涼祭では、出店でお好きなものを買って、召し上がっていただきます。夏の一夜をご家族とともに楽しんでいただいています。でも、昨年は突然の雨で急遽室内に変更し、大混乱。皆様にご迷惑をおかけしましたが、カラオケや音楽演奏を楽しんでいただきました。敬老会はお招きしたご家族とともにバイキング料理や、マジックショー、フラダンスを楽しんでいただきました。利用者様に腕を振るっていただくおやつ作りや、クリスマスにはみんなでケーキのデコレーションを楽しみ、したづつみ。サンタクロースによるプレゼントはスタッフの手作りでした。

ご利用者さまの豊かな経験をスタッフも学ばせていただきながら、様々なことに取り組んでおります。充実したリハビリ体制は、通所リハビリ、訪問リハビリにもつながり、継続したリハビリテーションをご提供しております。



敬老会バイキング料理



七夕短冊に願いをこめて...



敬老会司愛いプレゼントからの長寿表



美味しくデコレーション



おやつ作りには楽しんでいます

## みっかび東介護老人保健施設

浜名湖を望み、山々に囲まれた温暖な気候に恵まれた三ヶ日の自然の環境の中、安心して暮らせる療養環境を、私たち職員一同、真心込めてご提供させていただきます。

当施設のマottoは利用者様に快適で気持ち良く暮らすことのできる環境の提供であり、その為に「明るく・清潔に」を合言葉とし、日々サービスの提供をさせて頂いてます。また、在宅生活をサポートする通所リハビリテーション、居宅介護支援事業所、診療所も併設し、地域福祉ニーズに幅広く対応できる施設であるよう、常に努力しています。

今後も福祉の拠点になるよう頑張っていきます。



## 三方原ベテルホーム

法人理念の「隣人愛」に則り、地域社会の施設として福祉・医療・保健の総合化力をもって、在宅復帰支援施設・中間施設としての役割を担っていくことを目指しています。利用者の「生きよう」という意欲を育み、個人として尊重され、それぞれの持てる能力を活かした自立を、そして、快適に生活できる場を提供します。聖隷三方原病院併設施設のため、緊急時の医療的支援や専門性の高いリハビリテーション実施など利用者一人ひとりに応じた質の高い医療・介護サービスの提供が可能です。特に生活に即したリハビリテーションを推進することで、長期間の機能維持・改善を目的として地域における在宅生活を支援しています。



## なかよし

介護老人保健施設なかよしは、平成6年に開設。入所50床、通所リハビリテーション40名の施設です。豊田えいせい病院が併設しており、病状、状態の変化などに適切で迅速な対応が可能です。

なかよしでは、最適なサービスを提供するチームケアを主軸に捉え、充実した入所生活のサポート、集中的なリハビリテーションによる在宅復帰支援を行っています。

利用者様、ご家族の気持ちに寄り添い、在宅復帰を目指す中での不安や疑問に耳を傾け退所後も関連機関と密に連絡を取り、安心して在宅生活を継続していただけるよう総合的に支援してまいります。

私たちは経験豊かな利用者様たちからたくさん

のことを学び、心のこもったサービスの提供に向け日々努力を重ねていきます。「笑顔がいっぱいのなかよし」をどうぞよろしくお願いいたします。



## 都ケアセンター

都ケアセンターは浜松市北区都田町の緑豊かな自然を背景にしています。併設施設の政本病院（療養病床）が平成24年4月より老人保健施設への病床転換を予定しており、定員が入所405名、通所リハビリ20名となる予定です。

当施設は理学療法士、作業療法士のスタッフのもと、パワーリハビリ機器も導入し、より充実したリハビリテーションを提供できるように努力しております。



開設20年目を迎え、今後も職員一同、利用者様本位の介護サービスを心掛け「その人に最も適した介護」を実践していきたいと思っております。

## ハイマート有玉

「歌は世につれ」の例に違わず老人保健施設も時代の流れで必要とされる機能が増えて変わりつつあります。

当施設もそういった需要に応えつつ加えて独自のサービスを整えています。当施設の通所リハビリテーションでは園芸療法、散歩、応用歩行等多目的に使える



中庭があり季節の花々も楽しめます。リハビリテーション専門医のミニ講座も月1回開催しています。認知症のリハビリだけでなく、認知症で不安な方などの環境づくりも力を入れ、コミュニケーション方法等職員研修しています。身体の障害、介護、認知症など困



りの方、また、ご家族にも必ずお役に立てると思います。どうぞお気軽に相談にお越し下さい。職員一同お待ちしております。

## エーデルワイス

当施設は、平成19年4月より政令指定都市となった浜松市の北部にあります。国道152号線沿いで、近くに大型ショッピングセンターが2つもあり、浜松市中心街より車で約30分たらずの交通至便な場所にありながら緑に囲まれた田園の中に位置します。

施設の規模は、入所145床、短期入所5床、通所リハビリ定員1日60名で運営しております。また指定居宅介護支援事業所として担当ケアマネージャーが在宅サービスを希望されている方々の相談にのり、関係機関と密に連携をとりながらケアプランを作成し、サービス調整等を行っております。

建物の前方には広々とした回廊式の手すり通路に囲まれた庭園、ふれあい動物園、ミニ果樹園があり、入所者及び通所者のレクリエーション活動や憩いの場として利用されております。

また、当施設より徒歩1～2分のところには協力病院があり、当利用者様の力強い支援をしております。





## 入野ケアセンター

当施設は佐鳴湖の南側に面した雄踏バイパス沿いに位置し浜松市中心街から車で約10分ほどの交通利便性のよい街場の介護老人保健施設です。

「施設入所」をはじめ「短期入所」、「通所リハ」、「訪問介護・看護」、「居宅介護支援事業所」を併設しており、リハビリを中心に利用者様のニーズに応じてサービスを提供しております。



併せて湖東病院、和恵会記念病院とグループ内に介護療養型医療施設も併設しており、利用者様一人一人に応じた質の高い医療・介護サービスの提供が可能になっております。

H24年4月より、新たに80床が増床され、230床の介護老人保健施設として運営を予定しております。

地域に根付いたサービスがこれまで以上に住民の方々に提供できるよう、スタッフ一同が「親切・丁寧・平等」を心掛け、日々の業務にあたっていきたいと思っております。



## 白梅ケアホーム

当施設は、浜松市西部に位置し、浜名湖を見渡せる高台にあり、自然豊かな景色に癒されます。定員は入所150名、通所リハビリ40名で施設内に居宅介護支援事業所を併設しています。

通所リハビリでは絵手紙、革細工、俳句、ビーズ、ちぎり絵等クラブ活動が充実しており、中でもビーズクラブは女性利用者様だけでなく男性利用者様の参加もみられ、10名前後の参加があります。小さなビーズに糸を通したり、糸をクロスさせたり、手先や頭の機能を存分に発揮でき、また娘や孫にあげたいということで作品製作を一生懸命行われ、笑顔あふれる充実したクラブ活動時間となっています。今後も利用者様の笑顔を引き出せる取り組みを心掛け、元気で楽しい生活をサポートしていきたいと思っております。



## エバーグリーン掛川

当施設は平成8年に開設し、今年で16年目を迎えます。設備的には見劣りしてしまう箇所もあるかもしれませんが、利用者様への対応や職員の明るい挨拶でカバーしております。写真は菜園でさつまいもを入所者様と一緒に収穫した時のものです。収穫後、入所者様と一緒に美味しく頂きました。皆様からの「美味しい!」という言葉が最高のソースとなり、私たち職員もより一層美味しく頂くことができました。日々、利用者様と楽しいことや嬉しいことなどの感動と一緒に味わうことができるよう、利用者様目線のケアの実践を心がけております。今後も、皆様からの「ありがとう!」を頂けるよう、よりよいケアを全職種で共同し、提供して参ります。



## 於保老健センター

当施設は、平成8年4月に開設し、今年で17年目を迎えます。磐田市南部の旧福田町に位置し、入所定員80名(内、認知症専門棟30名)、通所リハビリテーション定員20名の施設です。

昨年より、待望の歯科衛生士さんが仲間に加わってくれました。それにより、これまで以上にスタッフ全員が口の中の健康について高く意識してくれるようになりました。施設がまた一歩前に進めたように感じられます。

もうどちらかと言えばベテランの老健かもしれませんが、歩みを止めず、少しずつ少しずつ頂に向かって進んでいきたいと思っております。「全ては利用者のために」をモットーに。



## さいわい

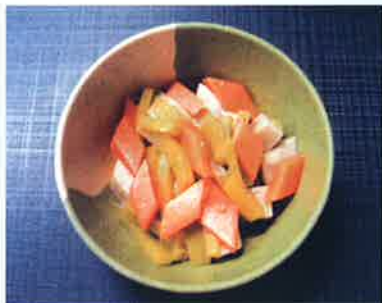
当施設は、緑豊かな浜松市の北部に位置し開設15年目を迎えます。

当施設では、ご利用者様に食事をより美味しく、楽しく、食欲をもって召し上がっていただくために、刻み食に代わるソフト食を9月より導入しました。

従来の刻み食は、咀嚼や嚥下機能に支障がある方を対象とした食事ですが、口の中で食べ物がばらけてしまい、誤嚥のリスクが高いものでした。

ソフト食は食材毎にミキサーにかけ、舌で押し潰せる程度のやわらかさに形成した食事です。普通食に近い形にし、彩りよく盛り付けています。また、食塊形成、移送、嚥下がしやすく、誤嚥のリスクも低下します。

まだまだ始めたばかりで試行錯誤の毎日ですが、ご利用者様に少しでも美味しく、楽しく意欲を持って召し上がっていただけるよう、努めていきたいと思っています。



## すずかけの街

当施設は、浜松市中心市街地、遠州鉄道の八幡駅徒歩3分の立地に、平成9年2月にオープンいたしました。

医療療養病棟のすずかけ病院(110床)を併設し、入所100名、通所30名の都市型複合老人施設となります。

5月の浜松まつりの際には、地元の八幡町の子供会の皆さんが、玄関前で練りを披露して頂いています。



8月末の日曜日には、施設、病院合同で、職員はじめ、ボランティアの皆さんと協力し、夏祭りを開催しています。

このように、季節折々に様々なイベントが開催され入所者の皆様に好評です。

今後も様々なイベントなどを通じ、利用者の皆様には、楽しく充実したサービスを提供できるよう、努めてまいります。



## さくらの苑

JR磐田駅の南、野鳥が数多く存在する大池の近くに当施設「さくらの苑」があります。当施設は、平成10年5月に開設し今年で14年目を迎えます。開設と同時に施設の周りに植えられた桜の木は、今では見上げる程の大きさとなり毎年春になると満開の桜が咲き誇ります。

現在、入所100名、通所39名、居宅介護支援事業所を設け、自立支援と在宅復帰を目指し利用者様一人一人に合った看護、介護、リハビリを提供しています。また、新年会や敬老会など季節に応じた行事も行っています。平成24年度新年会では、職員の不慣れな餅つき姿をみて、利用者様から「もうちょっと腰を入れて」、「私がやってあげるわ」などの声も聞かれ、利用者様と職員との距離が近く、とても温かく過ごしやすい雰囲気となっています。

今後も、職員一丸となり「地域の皆様には選ばれる施設」を目指していききたいと思います。



## おおふじ五幸ホーム

茶畑の広がる磐田市大久保に当施設は位置しています。入所定員は100名、通所リハビリテーション定員は60名です。

御利用者はもちろん御家族の方々にも、安心、信頼していただける施設であり続ける様職員一丸となって日々努力しております。

1月には恒例の新年会を催しました。ボランティアの方による七福神、職員の獅子舞などを、入所、通所の御利用者とその御家族の方に披露し、大変喜んでいただけました。日々のケア・リハビリ・レクリエーション以外にも、季節ごとに様々なイベントを催しております。お花見ドライブ、新茶会、夏祭り、紅葉ドライブ、クリスマス、新年会など季節感を大事にし、感じとって頂ける様にしています。

御利用者様の笑顔は、御家族様にとっても安心に繋がります。又、施設、職員にとっても喜びです。

今後とも宜しく願い致します。





## 袋井ケアセンター

袋井ケアセンターは、袋井市北部・天竜浜名湖線遠江一宮駅に近い萱間の山腹に位置する所にあります。

当施設の特徴として地域との交流が盛んです。季節の節目ごとにボランティアの方々による演芸・カラオケ大会があり、地元萱間自治会による秋祭り、神輿が施設内で練りをしてくれます。近くの小中学生の訪問による交流があり入所者の方も楽しみにしています。

もう一つの特徴として、看護・介護・個別リハビリ・口腔ケア・レクリエーションに利用者様の生活支援を職員一丸となって取り組んでいます。



## 神子の園

掛川駅の北東約3kmに位置する当施設は、平成11年4月に開設し、今年で14年目を迎えます。定員は入所100名（うち認知症専門棟50名）通所60名です。また地域密着型事業としてグループホームと認知症デイサービスセンターを併設しています。

当施設では、季節感を大切に各種行事、レクリエーション、散歩、食事、音楽療法等に力を入れており、利用者様の表情も明るく豊かになっています。リハビリテーションにおいてもパワーリハビリを導入し、機能回復や維持に努めています。

今後も全職員一丸となって、明るく活気があり安心して利用して頂ける施設を目指し努力していきたいと思えます。



## はまおか

### ◎施設の役割

医療や介護を必要とする方が、自立した生活を営む事ができるよう在宅支援を目標に、一人ひとりに合った看護と介護を提供します。

### ◎施設のコンセプト

入所者中心の看護・介護を目標に、入所者が安全で楽しく生活できるように、温かなケアの提供に努めています。

## まんさくの里

県の最西端に位置する当施設は、平成13年4月1日に開設し、今年の春で開設12年目を迎えます。定員は、短期を含む入所100名、通所30名です。

当施設では、日常PT4名・OT2名の体制で機能回復や機能維持の為にリハビリを提供させて頂いています。さらに、年間を通した行事として年始会・節分・雛祭り・納涼祭・運動会・文化祭・クリスマス会・もちつき大会があり、施設での暮らしの中、季節を感じて頂けるように努めております。また、クラブ活動として、習字・俳句・生花・カラオケ・絵手紙をボランティアの先生方を迎えておこなっており、11月の文化祭へ向けて、皆様楽しみながら一生懸命参加されております。

今後もより一層利用者様方に満足して、楽しんで頂けるように、職員一同精一杯努力していきます。



## 白脇ケアセンター

浜松駅から南へ約3kmに位置する当施設は、今年4月に開設10周年を迎えます。定員は入所100名、通所60名です。通所リハビリでは、リハビリテーションが中心のサービスを提供しています。ご自宅で安心して生活できる様理学療法士・作業療法士が、その方に合った個別リハビリテーションを実施し、心身機能・活動機能の維持・向上を図ります。また入浴・食事・集団活動を行い、日常生活の自立支援を行っています。集団活動では、貼り絵・折り紙・カレンダー製作・壁画製作等様々な創作活動やイスに座って行うリハビリ体操、カラオケ、習字など様々な活動に取り組んでいます。施設全体で開催される各種行事は趣向を凝らし、皆様からとても好評をいただいております。これからも皆様に信頼され、ご満足いただけるサービスを提供していきたいと思っております。



## 花平ケアセンター

当施設は、浜松市北部の花と緑の町、引佐町花平に位置します。地域密着、利用者様に選ばれる施設を目標に掲げ、今年の春で記念すべき開設10周年を迎えます。

私達は、「絆」を大切に、利用者様だけでなくご家族との交流に力を入れ、イベント企画等を行っております。

今年も「家族交流会」「初詣ツアー」等、ご家族様にも参加して頂きました。また、「お花見ツアー」「紅葉ツアー」「青空弁当」等、外に出て季節を感じて頂けるイベント企画も定期的に行っております。

これからも、利用者様、ご家族様、地域の方々との「絆」を大切に、「花平ケアセンターを選んで良かった」と言って頂ける施設づくりを職員一丸となり行っていききたいと思います。



## ケアセンター 芳川

自然に恵まれた環境の中、ご家族、地域の皆様に支えられ、ケアセンター芳川は9年目を迎えました。当施設は1階にリハビリ専用のプールを完備した通所リハビリテーション（定員60名）、2階・3階はユニットケアを取り入れた10ユニット（定員100名）からなる入所スペースになっています。

ご利用様が、ご家族、地域の皆様と共に楽しめる行事として、納涼祭・クリスマス会などを行っています。また栄養科では、年に数回バイキングや調理の実演を行い、普段取り入れることが少ない料理や、ご利用者の意見を基にしたメニューを提供しています。自分で選ぶ喜びや食べる楽しみを味わっていただき「おいしかった」の声に、次への力をもらっています。

これからも、明るく家庭的な雰囲気大切に、ご自分の持つ力を少しでも活かしながら、おだやかに生活していただけるように努力してまいります。



## みかたはら介護老人保健施設

当施設は浜松市北区三方原町の文教地区に位置しています。開設後8年経過し、スタッフの量・質ともに充実して、順調に事故もなく来ています。

暖かな日差しの中、当施設オリジナルメニューのおいしい食事と個人のADLに合わせた介護を提供しています。

さて昨年の東日本大震災で、当施設も防災意識が高まっています。近い将来予想される東海地震に備え、実現可能な避難誘導のシュミレーションを行っています。防災訓練を元消防士の職員中心に年2回以上計画実行し、外壁の補修工事、食糧や水の備蓄、家電、家具等の固定の点検、連絡網の確認など行っています。今後は感染症対策も含め、危機管理に強い施設を目指しています。





## あおばケアガーデン

当施設は掛川市の南部、太平洋の遠州灘から1.2kmの所にあります。今年で開設9年目を迎えました。接遇サービスの向上や口腔ケアの徹底など定期的に目標を設けて職員教育を行っています。また、昨年は3月11日の大震災を受け、津波による避難誘導に重点をおいた訓練も行いました。通所提供中の地震津波を想定し、利用者さん役の職員を背負う人や抱える人など、汗びっしょりになりながら上階への誘導訓練を行いました。また、非常食の状況や停電時の対応についても改めて確認し直しました。そして昨年9月の大型台風により、4時間に及ぶ停電を経験しました。20の汲み置き水100本がトイレの洗浄に役立ち、日頃の十分な備えが大切だと実感しました。災害時にどうするべきかを施設全体で確認し、定期的な訓練の実施や水・食料等を備えることで、ご利用者の安全確保に全力で取り組んでいきます。

尚、当施設は地域避難施設の指定も受けましたので、今後ご利用者・ご家族のみならず地域の皆さんにも役に立てる施設を目指していきます。



## 天王介護老人保健施設

天王介護老人保健施設は、天王病院（認知症専門病院）開設当初から「心と心のふれあい」、「親切と信頼の医療」を礎に今日まで信頼と実績を生かして平成15年8月に開設しました。



入所定員100床（全認知症専門棟、全個室）、通所リハビリテーション定員40名で運営しております。

各個室には障子の窓を配置するなど和の雰囲気を漂わせ、全室個室化により入居された皆さん個人の主体性を尊重する事ができ、規則正しいリズムある生活を送ることによって、本来のご自分を取り戻す、そんなハード

面での環境の提供もしています。

季節に合わせた行事「お花見」や「クリスマス会」、「餅つき大会」を行っており、年中行事として「お祭り」も行っています。



## さわだの庄

当施設は、ご家族や地域の皆様からの多大なご支援、ご協力を賜りまして、開設6年目を迎えることが出来ました。

利用者様の生活機能の維持・向上を支援し、生活訓練を中心としたリハビリテーションを実施するなど、安心で質の高いサービスの提供を行っています。中でも日々のレクリエーションは好評で、スタッフは、利用者様により楽しんで頂けるよう日々工夫を凝らしています。

また、季節感を大切に各種行事・クラブ活動・食事等に力を入れており、明るく・楽しい雰囲気でご利用者様の笑顔と健康増進に力を注いでいます。



今後も基本理念の遵守と、施設の開放・地域との融合を意識した施設づくりを目指し、一層の努力を重ねていきたいと考えております。

## 風の杜

介護保険が始まって早12年、急速な少子超高齢化により、制度が少しずつ変化しています。

風の杜は、7年の短い歴史ですが、その大きな流れとともに変化し続けています。

しかし、人や業務方法がどんなに変わっても、ご利用者やご家族が安心できる一日を過ごされること、かつ、ケアの質を高めていく努力の継続は、不変ではありません。そして、時々後を振り返り、残された軌跡を見直すことで、風の杜がご利用者のニーズを満たした老健に“進化”していくと信じます。

ここ森町には新東名が走り、ICやPAができるなど、町も少しずつ進化しています。森町がこれから更に住みよい町になるよう、高齢者福祉の見地から、貢献していくことが我々の使命であると自負しています。



## ナーシングホームオンフルール

ナーシングホームオンフルールは、JR袋井駅に近い袋井市高南地区に位置し、閑静な環境の中にある施設です。

フランスの美しい港町より名づけられた当施設に人生の安らぎと潤いを求めて寄港して頂き、季節感を大切にした行事やレクリエーション、おいしく変化のあるお食事を楽しみながら日々を過ごしていただくように配慮しています。

ご利用者様の生活状況に応じたりハビリを重視し、心身機能の維持向上をめざして支援をさせて頂き、そして元気になって、又出航して頂きたいと願いながら、職員一同一層の努力を重ねて地域に貢献をして行きたいと考えております。



運動会では力いっぱい玉入れができました。

## 白梅豊岡ケアホーム

白梅豊岡ケアホームは磐田市北部の旧豊岡村に位置し、平成18年の開設から7年目を迎えます。療養型病棟である白梅豊岡病院を併設しているため、医療行為の迅速な対応が可能です。

当施設では、入所者様の余暇活動の充実を図るため様々なレクリエーションに取り組んでいます。毎月のお誕生日会や季節に合わせたイベント、作品作りなどをしています。

特に昨年からは、身体・口腔内の健康維持や脳の活性化を図るため、食前に「白梅ハリモリ体操」を実施しています。「白梅ハリモリ体操」とは、ハリがある生活でモリモリ食事が食べられるようにと、リハビリ課や歯科衛生士などの多職種が専門性を生かして、身体と口の体操を組み合わせたものです。皆様この時間を楽しみに待っており、フロア内にも活気が生まれました。

これからも、入所者様が笑顔のある日々が送れるよう職員一同精一杯のケアに努めてまいります。



## 長 鶴 の 郷

平成24年度で開設6年目を迎えました。当施設では、ご希望のあるご利用者様には積極的に在宅復帰を支援しています。相談員はご家族への支援、リハビリ職は環境評価や介助方法の検討、看・介護職は在宅生活上の留意点、介助方法の伝達を中心に行っています。デイ居宅職員は季節にあったレクリエーションときめ細やかな介護に力を入れておりご満足いただけるよう取り組んでいます。在宅での生活がより充実したものとなるよう多職種協力して支援しています。また、23年6月より訪問リハビリを始めました。その他終末期の看・介護やご家族様とご利用者様の距離が離れないよう家族介護教室、家族会、ご家族様が施設(面会)に足を運びやすい環境づくりを心がけ取り組んでいます。まだまだ不十分ですが老健としての役割を果

せるようこれからも頑張ります。



## 五 洋 の 里

当施設は平成18年7月に開設し今年で6年目を迎えます。現在、入所定員90名、通所定員40名の施設です。居室の各部屋は、障子戸により和風の感じが程よく漂い、落ち着いたつくりとなっております。「私たちは、利用者様の意思及び人格を尊重し生活を守ります。」をモットーに職員一同利用者様とのコミュニケーションとサービス提供に取り組んでおります。今回は、昨年12月に利用者様と職員で行なった施設畑のにんじん芋の収穫を紹介致します。利用者様は収穫作業をとて楽しく過ごされ、おやつの中には、とれたてのお芋を茶巾しぼりにして利用者様みんなで、舌鼓を打ちました。これからもご利用者様が快適でご満足頂けるような環境づくり、サービス提供に心がけて参ります。





## えいせい掛川

えいせい掛川介護老人保健施設は、掛川城より北へ約6kmの緑に囲まれた自然豊かな地に、平成19年4月に開設し今年で6年目を迎えることとなりました。多くの皆様のあたたかい御力添えに心より感謝申し上げます。

当法人の3原則である「創意・誠意・熱意」をモットーに職員一同、御利用者様の方々の気持ちを大切に、自立した生活を目標に在宅支援及び地域に開かれた施設としてあたたかみのある心のこもったサービスの提供を心がけています。

今後も御利用者様、御家族様、そして地域の皆様とともに手を携えて明るく住み良い地域づくりに貢献できるよう努めて参ります。



## あらたま

介護老人保健施設あらまは、平成18年9月に開設し、6年目を迎えました。

当施設では、毎年仕事始めの時に、1年間の目標を決めます。今年は、『和』です。今年1年が平穏無事に過ごす事ができ、一人一人の持っている力を最大限に引き出していけるように努めていきたいと思っています。

昨年7月には、当法人内に居宅介護支援事業所を開設しました。今まで以上に地域の施設、事業所を意識して活動しています。

平成24年4月から介護報酬が改定されます。厳しい時代ですが、責任をきちっと果たせることと地域の皆様に関心を持ってもらえるように日々精進していきたいと思っています。



## クロヤナギ介護老人保健施設

クロヤナギ介護老人保健施設は、平成21年8月1日に開設しました。

当施設は、三ヶ日インターから西へ車で3分程の距離に位置し、浜名湖を望み、山々に囲まれた温暖な気候に恵まれた三ヶ日の自然の環境の中、安心して暮らせる療養環境を、私たち職員一同、真心込めてご提供させていただきます。

施設の主な役割・特徴などは、従来からある「介護療養型医療施設」の機能を踏襲しており、主に医療ニーズの高い利用者様が多い施設です。また、在宅生活をサポートする通所リハビリテーション、診療所が併設されており、地域福祉・医療ニーズに幅広く対応できる施設であるよう、常に努力しています。

今後も福祉・医療の拠点になるよう頑張っていきます。





# 県内の新設介護老人保健施設を紹介します。

## 鹿島の郷 浜松市

平成23年4月にオープンしたばかりの介護老人保健施設「鹿島の郷」は近くに天竜川が流れ、夏には屋上から鹿島の花火が見える場所に位置しております。

鹿島の郷の入所定員は（短期入所療養介護含む）100名、通所リハビリテーション定員30名の施設となっております。

1階フロアーには利用者様がご利用いただける足湯や、最新の加圧式リハビリテーション器具を揃え、入所者様が楽しんで自立に向けるリハビリテーションを行える環境を整えております。

また、2階と3階の入所フロアーでは季節に応じた行事や施設内の装飾を行う事により施設の中においても季節を感じられる施設づくりを行っています。そして豊富なレクリエーションを考案し提供させていただく事により入所者様が笑顔で活力のある自立した生活が送れるように努めております。

新規開設したばかりの施設ですが、介護老人保健施設の本来の姿である、ご利用者様の自立に向けた支援を理念として、より良い介護老人保健施設をつくっていきけるようにスタッフが一人丸となり努力していきますので宜しくお願い致します。



# 部会報告

## 看護・介護部会

平成23年度の看護・介護部会では、認定歯科衛生士の小宮山ひろみ先生をお招きし「口腔ケア」について講演していただき、口腔ケアの効果もデータを交えて解説していただきました。

口腔ケアは口腔内の清潔を保つことが目的ですが、結果として肺炎の発症率、合併症率、インフルエンザ発症率の低下など、感染症の予防が見込めます。口腔内は体温によって温度が保たれ、湿度、栄養の条件などで細菌繁殖され、バイオフィルムを形成します。嗽（うがい）ではバイオフィルムを破壊することが難しいため、適切な口腔ケアが必要となる訳です。

一回目は「口腔ケアの大切さ」をテーマに口腔ケアの必要性和その効果をお話ししていただきました。また、ケアの方法とそのポイントを二人一組となり、体験型の演技演習を行いました。施設へ持ち帰っていただき、次の看護・介護部会の実践報告につなげました。

二回目は、一回目の内容を各施設で実践し、得られた効果や課題をグループディスカッションで報告、検討をしました。

また前回の講演やグループディスカッションの中で、解決できなかった課題についても

講師の先生に、対応策や口腔ケアに必要なアイテムを紹介していただきました。

今年度は「口腔ケア」をテーマに絞り研修会を開催しました。

今後も看護・介護部会では皆様からのご意見をいただき、様々なテーマを取り上げていきたいと考えています。有意義な場として活動できるようご協力をお願いいたします。





## 通所リハビリ部会

平成23年度の通所リハビリ部会が、平成23年度10月13日に静岡県総合福祉会館「シズウエル」にて38施設56名、又平成24年2月22日には静岡県総合研修所「もくせい会館」にて30施設46名の参加を頂き、二回にわたって開催いたしました。

第一回の部会では、皆様から多数寄せられた議題の中から7つに絞り、グループワークにて意見交換を行いました。「要介護者と要支援者の対応」「個別レクについて」「入浴やレク拒否の方の工夫」「感染予防対策」「介護予防リハビリメニュー」「情報共有や確認事項の取り組み」「利用率向上について」等の内容について、様々な意見を頂き活発な情報交換の場となりました。

第二回の部会では、寄せられた議題に対し、全員が向き合う形での質疑応答を行いました。「各施設での業務上の課題・問題点」「リハビリの工夫」「職員教育」等、幅広い意見交換が出来たと思います。又第二部としてレク研修会を行い、各施設



自慢のレク紹介として12施設の皆様が音楽レク、運動レク、頭の体操レクとして実演披露してくれました。それぞれの施設がとても工夫され笑いあり盛りあがりの楽しい時間を過ごせたと思います。これからも利用者のニーズにに応えられるより良いサービスを目指して励んで参ります。



## 支援相談員部会

平成23年度支援相談員部会は、12月15日、もくせい会館にて開催致しました。45施設56名にご参加いただき、日頃の支援相談業務における課題、疑問、困っている事などについて、グループディスカッションの中で自由に意見交換をしていただきました。それぞれのグループでは自然と最初に自己紹介、自身の所属する施設の特長やPRポイントを挙げ、地域の中での役割を発表していました。ターミナルや在宅復帰支援、経管栄養等医療ニーズに積極的な施設、長期化しながらも特養待機を入れている施設：それぞれの地域性にあった取り組みをしており、自施設への参考にできたのではないかと思います。また、そこから話を深め、ベッドコントロールや持ち出し医療費についての対策、未納問題や急変時対応等、ほとんどの施設で共通の悩みやジレンマを抱えている事に共感し、それぞれの施設の対応に学びを得る事ができました。

さらに今回、多くのグループで、日用品費や教養娯楽費等の入所時説明・同意方法等が討議されていました。契約の第一線でこれらの説明をする支援相談員として、いかにご家族の理解を頂きながら、選択をしていただき、記録に残すか：地域によって差異はあるものの、徹底している施設を参考に、これから各施設で対策をたてていくのではないだろうか。

今回は介護報酬改訂を前にして、地域包括ケアシステムにむけた老健施設として、新しい役割が求められてくる時期にあたります。その中で支援相談員が【組織の中】で、【地域の中】でどのような役割を持ちながら、施設と地域を繋いでいかなければならないのか：考える事のできるよいきっかけになったのではないかと思います。その為には、今回のような繋がりが必要になってきます。今回意見共有が出来たことで、老健の支援相談員としてこれからも連携を取りながら、良好な支援や地域への働きかけができればと思います。

# 平成23年度 職員研修発表会

## ◆第1回 職員研修発表会の演題◆

平成23年9月27日(火) 10:30～15:20 静岡県総合社会福祉会館「シズウェル」

- ★「利用者の日々の生活の充実を目指して」 [白梅豊岡ケアホーム]
- ★「職員の担当者制再構築による意識改革」  
～在宅復帰へ向けて～ [ケアセンター池田の街]
- ★「みんなで実践KYT!」  
～継続実践し得られたもの～ [西山ウェルケア]
- ★「スタッフによるピアノの生演奏」  
～入所者の笑顔を目指して～ [新富士ケアセンター]
- ★「リスクマネジメント」  
～服薬忘れと誤薬を中心に～ [ユニケア岡部]
- ★「職員が個々の力を発揮するチームケアの質の向上を目指した取り組み」  
～マネージャーの役割～ [すずかけの街]
- ★「意欲の持てるレクリエーション」 [アポロン]
- ★「〈帰りたい〉〈家で見たい〉その気持ちに沿って」 [アポロン]
- ★「排尿パターンに合わせた援助によるオムツ代金削減の取り組み」 [グリーンヒルズ藤枝]

## ◆第2回 職員研修発表会の演題◆

平成24年2月21日(火) 11:00～15:10 静岡県総合社会福祉会館「シズウェル」

- ★「接遇の見直しと意識付け」  
～笑顔の絶えない職場作りを目指して～ [さくら]
- ★「介助ブラシを必要とする事例を通し効果を検討する」  
～口腔ケアアセスメント表を用いて～ [於保老健センター]
- ★「質の良い睡眠とはなにか」  
～より良い生活を送るために～ [花平ケアセンター]
- ★「カンガルークラブ(学習療法)の取り組みについて」  
～認知症短期集中リハビリテーションとして～ [かりん]
- ★「片麻痺利用者疑似体験を通して」  
～今後のより良いケアに繋げるために～ [グリーンヒルズ藤枝]
- ★「生活パターンの小さな変更による利用者と職員の関係の成果」  
～失語症の方の声だし、頬叩きが減少した事例～ [すずかけの街]
- ★「気持ちよく入浴してもらうために」  
～リハビリ職と介護職とで介助方法を検討した事例～ [ユニケア岡部]



# 静岡県老健協主催 研修会レポート

## 看・介護部会 研修会

今回の研修に参加し、口腔ケアの大切さを再度実感しとても勉強になりました。

口腔ケアを行なうことに肺炎の発症率を減少させ、これからの時期では、インフルエンザの予防にもなる。

利用者さんの食事量は、活気がない時は、口腔トラブルが原因とも考えられる。その原因として考えられるものとしては、口腔乾燥していることにより息がしづらくなり、呼吸があらくなったり、口唇のただれや、義歯による褥創も考えられる。食事をとる前、口腔ケアをする前など一度口腔チェックをしていく必要があると思いました。又、以前義歯を使用していたが今は使用していない方々は、残歯で口の中をキズつけてしまうことがあるので気をつける必要がある。そのキズついた痛みにより、食事量が減ってしまったり、飲み込む機能が低下したり、会話しにくくなったりとQOLを低下させてしまうことがわかった。その時の対処法として、保湿剤の塗布、水分補給をすることに加え、口腔内を清潔にすることが重要だということがわかりました。

普段からむせ込みの強い利用者さんは、お茶で口腔ケアすることが良いとされている。殺菌作用もあり、口臭予防にもなるとされている。

口腔ケアをすることにより、利用者さんのQOL向上につながっていくことがわかりました。

継続して行っていけるよう職員全員で協力して取り組みたい。

介護職員

## 新老健版ケアマネジメント方式 R4システム研修会

R4のシステムの研修に参加して、具体的なR4の運用方法の勉強会ではありませんでしたが、今の老健が抱える現状や、今後の方向性、チームプレイの大切さを学ぶ事が出来ました。

直ぐにR4を活用し施設運営するには難しいかもしれませんが、数ベッドから取り入れて、徐々に増していくのは可能かと思われます。

今まで、自分の置かれている立場(介護やケアマネ)だけ考えて仕事に当たってきましたが、施設全体を考え、相談員とも意見交換しながら、DrやOTなどの他職種のアドバイスをもらいながらケアプランを作成していく事が大切であると実感しました。

介護支援専門員



## 職員研修発表会レポート

今回の研修では、介護の質をより高めるため他の老健施設の方々の取り組みと、その結果の発表を聞く事ができ大変参考になりました。

ある発表では、老健の役割でもある在宅復帰支援の向上を目指した取組みとして、利用者のご家族と職員とのコミュニケーションの場を多く取るために、イベントにはご家族の出席をお願いしたり、居室にご家族と職員の連絡用のノートを設置したり、ご家族の方に在宅復帰への障害と題したアンケートを行ったりしたそうです。6ヶ月間活動したそうですが、短期的に結果を出すのは難しく、目に見える数値上のものは得られなかった様子ですが、職員の視線が利用者とそのご家族により強く向けられるなど、一定の成果は得られたようでした。その他の発表で感心させられたのは、レクリエーションやイベントをいかに楽しんでもらうか。この重要性が他の施設職員の具体的な行動と調査により、再確認されました。ピアノの生演奏を取り入れた施設では、フェイススケール点数の向上が認められ、利用者の離床回数・時間が増加し、結果各利用者がかかえていた痛みが消失したり、帰宅願望が強かった利用者の訴えが消失したり、笑顔が増えた、活気が得られた、時間になると自らレク室に移動する(今までレクに参加しない人が)など、目を見張るほどの成果が得られたそうです。利用者にとって、楽しい日常がいかに大切かを感じさせられました。

介護職員

毎日行われるレクリエーションはどこの施設も苦労している様に思ったが、その中でも利用者様を飽きさせないで皆で楽しめる工夫をこらしたレクリエーションを考えている施設があったので、この施設のレクリエーションの方法を自分達の施設でも活用できたらと思いました。

事例発表会に参加させていただいて、多くの施設の色々な考え方や方法がある事を知り、それを教えてもらえるという、大変ありがたい機会をいただきました。

また、他施設に見学する事ができるような機会があったら参加させていただきたいと思います。

介護職員

レクについては、日々の業務と重なってしまいがちです。利用者にとってのレクリエーションはとても重要な時間です。決められている内容を行なっていくのではなく、内容を工夫、研究し自然と声が出て動きにつながるようにして行かなければならないと考えさせられました。再認識しました。

精神的に充実した生活をする事により、痛みや不定愁訴の訴えのある利用者も少しのレクの時間を過ごすことにより、気分転換になったり楽しむことができる、こういう時間を毎日続けていくことによりADLの維持向上が図られ、介助量の軽減につながると感じました。

職員も利用者と一緒に楽しみながら参加できるように、提供していきたいです。又、この研修会が継続発展していけると期待しています。

介護職員

# 静岡県老健協主催 研修会レポート

## 通所リハ部会レポート

今回、他施設で行われている事や対応についてさまざまな話を聞く事ができました。とてもいい勉強、経験になりました。

レクや入浴に関してそれぞれの施設で工夫している事が多くあり、今後施設の職員に伝えていきたいと思います。

また、機会があったら参加したいと思います。よろしくお願いします。

施設によって職員数、利用者数のちがいはありますが、利用者様自身、リハビリに対する意欲の高さが聞かれました。私たち施設でも同じですが、リハビリ意欲の高い利用者様が多いなか、利用者様の個別に対応を行っていききたいと思います。



介護の仕事について、はじめてこのような研修会に出席しました。他の施設の様子を聞くことが出来て、とても良い経験、勉強になりました。レクはどうしてもマンネリ化してしまうので、他の様子を聞けて、これからの業務にいかしていきたいと思います。

どの施設も、この部会を行うことによって、利用者の状態を良く観察していくことの大切さをより一層感じました。

職員同士、情報共有をしながら、これからも業務にあたっていききたいと思います。

どの施設も議題に対して工夫した取り組みをしており、勉強になりました。施設の規模によっても違い参考になりました。今日、教えて頂いたことを生かして、明日から又、仕事に取り組みたいと思います。

## その他の研修会レポート

### 防災研修会

今回初めて、地震体験車を通じ震度5～7の揺れを体験した。設定では、予め椅子とテーブルが固定されていたが、震度6以上ではしがみついているのがやっとの状態。震度7では体が宙に浮いてしまう程だった。実際には棚等は固定しても、日常的に使用する椅子やテーブルを固定しているケースは少ない。揺れが始まれば、身動きができないことを改めて感じた。避難よりもまず、自分の身の安全の確保が重要。緊急地震速報等、1秒でも事前に予知できれば、安全な場所への避難に役立つと思われる。施設でもハード面で落下物、家具等の転倒防止対策、窓ガラスの飛散対策、施設の耐震化の検討等改めて必要がある。地震発生直後の対応と発生後の対応を改めて検証し、確認する必要がある。大規模地震が発生した場合、広域的な救援が到着するまでの3日程度は施設運営が維持できる食料、水、生活用品、応急医薬品が必要と考えられている。阪神・淡路大震災では、ライフラインの全復旧に要した日数が、水道90日、電気7日、ガス84日だったことを考えると不十分かもしれない。

今回の東日本大震災で被災した施設の過酷な現状を目の当たりにし、数々の報道をみると高齢者施設では水の確保に苦勞し、最優先されている現状がうかがえた。今回は当施設では5人の参加だったが、今後機会があれば職員全員に参加し、経験してもらいたい。

今回の体験で、改めて地震対策の重要性を再確認することができた。今後の当施設の防災対策に役立てたい。

支援相談員

### マナーセミナー

今回、マナー研修に参加して社会人としてのマナーの基本や正しい言葉づかいについて学ぶ事ができました。

今までの自分を振り返り、改めなければならない所があると気づかされました。特に言葉づかいについては丁寧な言葉で話していたつもりでも間違っって使っていたり、よりよい表現があったりと学ぶ事が多かったです。入職時から気をつけていた、あいさつや表情(笑顔)などは意識をする事でもっと良いあいさつ表情ができる様になりました。利用者の方やその御家族に信頼・安心してもらえる職員になれる様、今回の研修で学んだ事をきちんと身につけていきたいです。

また、マナーというのは一日で身につくものではないので、日々意識をして行動や発言をし、毎日今日一日の自分を振り返る事を心掛けていきたいです。

介護職員

### 介護福祉施設向けリスクマネジメントセミナー

介護のリスクマネジメントの基礎知識

事故防止活動の方法を見直す(従来の日本の事故防止活動は失敗)。事故の原因は主に人のミスだから事故を防止するには人がミスをしないように管理する。(従来)

新しい事故防止の手法

人は誰でも必ずミスをするを前提にする。人にミスをさせる原因も含め事故原因を究明し除去する活動。職員のミスと決め付けずミスの原因を把握し改善する。人がミスしても事故につながらない仕組みづくり。人がミスをした時ミスを発見するチェックの仕組みづくり。事故防止活動は職員が個人で取り組んでも効果は上がらない。効果をあげるには組織で取り組み事故防止の仕組みを作ること。すべての事故は防げない(完璧な事故防止活動をしてでも事故はゼロにならない)。介護とは人が生活することを支援する仕事なので、人が生活することに伴うリスクは避けられない。家族に利用者の生活リスクを共有してもらう取り組みや事故がおきた時の対処の仕方が大切なんだと認識されました。

介護福祉士

### 認知症の介護指導研修

認知症介護の基本を家族に伝える事が大切との事でした。又、介護者は、認知症の方とどういう接し方をすればよいか? ◎認知症は「脳の病気である」という認識を介護者全員が共有するよう指導する。◎利用者の世界、利用者の考えていること、感じていることを推測し、理解するよう介護者や周囲の人々は努める。◎できなくなった事を家族・周囲の人々が支援する手助けする姿勢が大切。利用者の気持ちを傷つけないような対応。◎叱る・怒る・なじる・馬鹿にする・教育しようとするなどは、不適切。◎すでにできなくなった生活能力を用いなければならない機会を減らす事。残っている機能を最大限発揮できる環境作りを行う。◎介護に完璧を求めないことを強調する。介護する家族を精神的・身体的な負担は大きいとの事でした。私は、日々業務に追われ、利用者の方を思いやる介護、利用者の考えている事を理解しようとしたのか? 考えさせられました。

もう少し、業務時間にゆとりができれば、認知症の方の介護も、広い心でよい介護ができるのではないかと感じました。

介護福祉士



# 平成23年度 静岡県老人保健施設協議会 事業報告

## 平成23年

4月27日	幹事会	静岡市
5月19日	平成23年度 静岡県老人保健施設協議会 定期総会	静岡市
5月25日～27日	東海・北陸ブロック長選出会議 第7回 東海・北陸ブロック老健大会 58演題中静岡県8演題発表（座長1名派遣） 東海・北陸ブロック役員会	福井県 福井市
8月5日	全体研修会（新全老健版ケアマネジメントシステム方式・R4システム）	
9月27日	第1回 職員研修発表会 9演題発表	静岡市
10月13日	第1回 通所リハビリ部会 研修会	静岡市
10月31日	幹事会	静岡市
11月16日	第8回 東海・北陸ブロック老健大会打合せ会（事務局長出席）	静岡市
11月22日	全国老人保健施設協会 支部事務担当者会議（事務局長出席）	愛知県名古屋市
12月1日	第1回 看護・介護部会 研修会	東京都
12月8日～9日	一泊実務者連絡会	静岡市
12月15日	第1回 支援相談員部会 研修会	浜松市

静岡市

## 平成24年

1月10日	第2回 看護・介護部会 研修会	静岡市
2月16日	ふじのくに安心地域支え合い体制づくり県民会議	静岡市
2月18日	第1回 機関誌「老健しずおか」編集会議	静岡市
2月21日	第2回 職員研修発表会 7演題発表	静岡市
2月22日	第2回 通所リハビリ部会 研修会	静岡市
3月8日	支部長 総会 第2回 臨時社員総会	東京都
3月17日	第2回 機関誌「老健しずおか」編集会議	静岡市

### その他

■平成23年度 新規加入施設：1施設

介護老人保健施設 鹿島の郷

■合計加入施設：96施設

# 静岡県老人保健施設協議会 20年のあゆみ

## ■平成8年

5月 平成8年度定期総会 静岡市  
 5月 第5回東海ブロック老人保健施設大会 三重県四日市市  
 8月 緊急職員研修会「病原性大腸菌O-157」対策 静岡市  
 主な事業内容／職員研修会（地域部会）  
 4部会5回、  
 機関紙「老健しずおか」  
 創刊号発行  
 平成8年度合計加入施設 30施設

## ■平成9年

5月 平成9年度定期総会 静岡市  
 5月 第6回東海ブロック老人保健施設大会 愛知県名古屋市  
 主な事業内容／職員研修発表会1回、  
 職域部会5部会9回、  
 行政との勉強会2回  
 介護保険勉強会5回、  
 実務者連絡会3回、  
 幹事会4回、  
 機関紙「老健しずおか」  
 第2号発行  
 平成9年度合計加入施設 37施設

## ■平成10年

5月 平成10年度定期総会 静岡市  
 5月 第7回東海ブロック老人保健施設大会 岐阜県岐阜市  
 （2日間）  
 主な事業内容／職員研修発表会1回、  
 職域部会5部会9回  
 行政との勉強会2回、  
 介護支援専門員養成研修会4回、  
 介護保険勉強会3回、  
 実務者連絡会3回、  
 幹事会1回、  
 機関紙「老健しずおか」  
 第3号発行  
 平成10年度合計加入施設 42施設

## ■平成11年

5月 第8回東海ブロック老人保健施設大会 浜松市  
 （2日間）  
 6月 平成11年度定期総会 静岡市  
 9月 包括的自立支援プログラム勉強会 静岡市  
 主な事業内容／職員研修発表会1回、  
 職域部会5部門9回、  
 行政との勉強会1回、  
 介護支援専門員養成研修会4回、  
 介護保険勉強会3回、  
 実務者連絡会6回、  
 幹事会4回、  
 機関紙「老健しずおか」  
 第4号発行  
 平成11年度合計加入施設 48施設

## ■平成3年

2月 静岡県老人保健施設協議会設立準備会 (5施設) 浜松市  
 3月 静岡県老人保健施設協議会設立総会 静岡市  
 主な事業内容／職員研修会2回、  
 行政との勉強会3回、  
 実務者連絡会2回  
 平成3年度合計加入施設 7施設

## ■平成4年

4月 平成4年度定期総会 静岡市  
 6月 第1回東海ブロック老人保健施設  
 連絡会大会 三重 三重県四日市市  
 主な事業内容／職員研修会2回、  
 行政との勉強会3回、  
 実務者連絡会5回  
 平成4年度合計加入施設 10施設

## ■平成5年

4月 平成5年度定期総会 静岡市  
 5月 第2回東海ブロック老人保健施設  
 連絡会大会 愛知 愛知県名古屋市  
 主な事業内容／職員研修会2回、  
 行政との勉強会3回、  
 実務者連絡会5回、  
 幹事会1回  
 平成5年度合計加入施設 13施設

## ■平成6年

5月 平成6年度定期総会 静岡市  
 本協議会を社団法人全国老人保健施設協会  
 静岡県支部と位置付けする  
 5月 第3回東海ブロック老人保健施設  
 連絡会大会 岐阜 岐阜県岐阜市  
 8月 全国老人保健施設現任研修会の  
 開催を担当 浜松市  
 主な事業内容／職員研修会2回、  
 行政との勉強会3回、  
 実務者連絡会3回、  
 幹事会2回  
 平成6年度合計加入施設 17施設

## ■平成7年

4月 平成7年度定期総会 静岡市  
 5月 第4回東海ブロック老人保健施設  
 連絡会大会 浜松市  
 主な事業内容／職員研修会3回、  
 行政との勉強会3回、  
 実務者連絡会6回、  
 幹事会5回  
 平成7年度合計加入施設 25施設



## ■平成16年

5月 第12回東海ブロック老健大会  
(2日間) 三重県桑名市  
6月 平成16年度定期総会 静岡市  
主な事業内容／職員研修発表会2回、  
職域部会5部1回、  
実務者連絡会1回、  
幹事会2回、  
機関紙「老健しずおか」  
第9号発行  
平成16年度合計加入施設 74施設

## ■平成17年

6月 平成17年度定期総会 静岡市  
5月 第1回東海・北陸ブロック老健大会  
(2日間) 愛知県名古屋市  
主な事業内容／職員研修発表会2回、  
職域部会5部5回、  
実務者連絡会2回、  
幹事会3回、  
機関紙「老健しずおか」  
第10部発行  
平成17年度合計加入施設 80施設

## ■平成18年

6月 平成18年度定期総会 静岡市  
5月 第2回東海・北陸ブロック老健大会  
(2日間) 岐阜県高山市  
7月 「介護サービス情報の公表」制度  
について説明会 静岡市  
主な事業内容／職員研修発表会2回、  
職域部会5部7回、  
実務者連絡会1回、  
幹事会2回、  
機関紙「老健しずおか」  
第11号発行  
平成18年度合計加入施設 86施設

## ■平成19年

4月 臨時総会 静岡市  
5月 東海・北陸ブロック老健大会  
石川県金沢市  
6月 平成19年度定期総会 静岡市  
主な事業内容／職員研修発表会2回、  
職域部会4部5回、  
実務者連絡会1回、  
幹事会3回、  
機関紙「老健しずおか」  
第12号発行  
平成19年度合計加入施設 90施設

## ■平成12年

6月 平成12年度定期総会 静岡市  
6月 全国老健主催:職員基礎研修会・  
中堅職員研修会への協力 浜松市  
9月 介護支援専門員実務研修  
受講資格試験の為に準備講習会 静岡市  
2月 「身体拘束について」勉強会  
主な事業内容／職員研修発表会2回、  
職域部会5部9回、  
行政との勉強1回、  
1泊実務者連絡会1回、  
幹事会1回、  
機関紙「老健しずおか」  
第5号発行  
平成12年度合計加入施設 52施設

## ■平成13年

5月 平成13年度定期総会 静岡市  
5月 第9回東海ブロック老健大会  
(2日間) 愛知県名古屋市  
9月・10月 介護支援専門員実務研修受講資格試験  
の為に講習会 沼津市・静岡市・浜松市  
2月 身体拘束ゼロ作戦推進セミナー  
県介護保険室との共催 静岡市  
主な事業内容／職員研修発表会2回、  
職域部会5部8回、  
行政との勉強1回、  
実務者連絡会3回、  
幹事会3回、  
機関紙「老健しずおか」  
第6号発行  
平成13年度合計加入施設 58施設

## ■平成14年

5月 平成14年度定期総会 静岡市  
5月 第10回東海ブロック老健大会  
(2日間) 岐阜県下呂町  
主な事業内容／職員研修発表会2回、  
職域部会5部8回、  
実務者連絡会2回、  
幹事会2回、  
機関紙「老健しずおか」  
第7号発行  
平成14年度合計加入施設 64施設

## ■平成15年

6月 平成15年度定期総会 静岡市  
5月 第11回東海ブロック老健大会 (2日間)  
浜松市  
主な事業内容／職員研修発表会2回、  
職域部会5部6回、  
実務者連絡会2回、幹事会2回、  
機関紙「老健しずおか」  
第8号発行  
平成15年度合計加入施設 71施設

### ■平成22年

5月 東海・北陸ブロック老健大会 三重県鳥羽市  
 6月 平成22年度定期総会 静岡市  
 主な事業内容／職員研修発表会2回、  
 職域部会3部4回、  
 実務者連絡会1回、  
 幹事会2回、  
 機関紙「老健しすおか」  
 第15号発行  
 平成22年度合計加入施設 95施設

### ■平成20年

5月 東海・北陸ブロック老健大会(2日間) 浜松市  
 6月 平成20年度定期総会 静岡市  
 主な事業内容／職員研修発表会2回、  
 職域部会3部5回、  
 実務者連絡会1回、  
 幹事会2回、  
 機関紙「老健しすおか」  
 第13号発行  
 平成20年度合計加入施設 92施設

### ■平成23年

5月 平成23年度定期総会 静岡市  
 5月 東海・北陸ブロック老健大会 福井県福井市  
 主な事業内容／R4システム研修、  
 職員研修発表会2回、  
 職域部会3部5回、  
 実務者連絡会1回、  
 幹事会2回、  
 機関紙「老健しすおか」  
 第16号発行  
 平成23年度合計加入施設 96施設

### ■平成21年

5月 平成21年度定期総会 静岡市  
 5月 東海・北陸ブロック老健大会 富山県富山市  
 主な事業内容／職員研修発表会2回、  
 職域部会5部7回、  
 実務者連絡会1回、  
 幹事会2回、  
 機関紙「老健しすおか」  
 第14号発行  
 平成21年度合計加入施設 92施設

## 静岡県老人保健施設協議会 創立20周年に想う

西山ウエルケア 鈴木 博

平成3年3月より始まった協議会活動も早20年が過ぎたのかと思うと感無量で一杯です。当時、若輩者の私が事務局運営を遂行できたのも諸先輩方々のご理解・ご支援・ご協力があったればこそと今さらのように感謝致しております。

渡邊会長から、有意義な団体活動が出来るようにと、唯単に管理者が集まり表面上の活動をするのではなく、事務長クラス等（肩書きはともかく）が気楽に話し合う場を設け運営して欲しい旨の意向がありました。当時老健の運営は行政も施設も手探りの状態でしたので、度々の実務者連絡会での意見交換会は有意義なものだったと思います。

「中央からの情報は各施設に包み隠さず事細かに伝えなさい。」の会長の信念で各種研修、介護保険のスムーズな移行等当時電子メールが普及していなかったので、印刷・宅急便送付・FAX送付・電話での意見交換等それなりに活動させていただきました。静岡県老人保健施設協議会は今迄と同様圧力団体ではなく業務向上を目指した施設研修を中心にお互いが選ばれる施設になるように研鑽する活動を望みます。

近頃の傾向として開設数年の施設の研修会参加率が悪いのが気がかりです。お互いより良い老健の向上を目指して頑張りましょう。







## リバブル ケア 酒 井 幸 恭

平成3年、5施設が集まり県協議会の産声を上げ、20年を経過した現在100施設に迫る大世帯となりました。初代会長、渡邊庸一先生から始まり、目的に掲げる「研修および自己研鑽を旨した団体」の基本姿勢は、爾来、藤澤弘芳先生、そして現会長、平田善章先生にと受け継がれて来ました。この旨は、事務局からの情報共有発信、又、時間をかけ学びあう職員研修発表会、職域研修部会等、相互研修が伝統とし受け継がれています。近年、中央情報はダイレクトに入手可能となりましたが、文字、文言には見えない部分の理解は、先述の各部会での学びとなり、各施設のケアの質の向上に大きく寄与していると思います。さて、老人保健法から介護保険法に移行し、現在も施設運営環境の変化は目まぐるしく、対応に苦慮する側面もあります。しかし老健が誇れる、医師、看護、介護、リハ、相談、ケアマネ、栄養、事務、その他施設に関わる全てのスタッフが多職種協同で繰り広げる老人保健施設のケアのスタンスは変わることなく、発足より掲げる「地域における保健、医療、介護、福祉の拠点施設として…」の使命を今後も全会員で全うして行こうではありませんか。

### 第8回 東海・ 北陸ブロック老健大会

◆日程 / 平成24年5月17日(木)  
10:30～17:00 (受付10:00)  
平成24年5月18日(金)  
9:00～12:30

◆会場 / 名古屋国際会議場 白鳥ホール他  
(名古屋市熱田区西町1番号1)

### 第23回 全国介護老人 保健施設大会 ちゅ うち なあ 美ら沖縄

◆日程 / 平成24年10月3日(水)  
～10月5日(金)  
◆会場 / 沖縄コンベンションセンター他

大会ホームページ

<http://www.roken2012-okinawa.jp>

会員施設皆様の参加及びご協力をよろしくお願い致します。

### 編集後記

本年の機関紙発行は、静岡県老人保健施設協議会発足20年の節目であります。発足当時から現在まで数名の方が関わっていただきご協力願っております。5施設から始まり本年度末現在会員96施設と大きな団体となりました。この機会に20年の沿革と寄稿をお願いし掲載しました。ご一読ください。

毎年機関紙発行の際にはご協力をいただき御礼申し上げます。

# 県内老人保健施設地区別所在地案内

各施設の窓口が直接利用のご希望をお受けいたします。  
まずはお気軽にお電話下さい。

## 東部地区

リバブルケア	〒418-0105 富士宮市原682	TEL (0544) 54-1800
タカネ園	〒410-0305 沼津市鳥谷611-1	TEL (055) 967-8800
みくりや園	〒412-0042 御殿場市萩原354-1	TEL (0550) 83-3567
ヒューマンライフ富士	〒417-0801 富士市大淵3901-1	TEL (0545) 36-0511
富士ケアセンター	〒418-0035 富士宮市星山1129	TEL (0544) 22-3111
安寧の郷	〒410-2315 伊豆の国市田京1258-44	TEL (0558) 76-8100
梅名の里	〒411-0816 三島市梅名578	TEL (055) 977-8686
長泉ケアセンター博寿園	〒411-0945 駿東郡長泉町本宿418-1	TEL (055) 989-1121
おおひら	〒410-0821 沼津市大平1117-1	TEL (055) 934-1165
あすなろ	〒412-0045 御殿場市川島田1076-2	TEL (0550) 88-0007
熱海ナースিংホーム翔寿園	〒413-0002 熱海市伊豆山字七尾原1173-172	TEL (0557) 80-3712
ききょうの郷	〒416-0946 富士市五貫島175	TEL (0545) 65-2000
ラ・サンテふよう	〒411-0047 三島市佐野1205-3	TEL (055) 989-7000
のぞみ	〒414-0001 伊東市宇佐美2405-2	TEL (0557) 48-0658
みゆきの苑	〒418-0005 富士宮市宮原337-4	TEL (0544) 28-3900
河津おもと苑	〒413-0502 賀茂郡河津町川津筏場1512-18	TEL (0558) 35-7770
しおさい	〒410-3514 賀茂郡西伊豆町仁科243-1	TEL (0558) 52-3000
なぎさ園	〒415-0152 賀茂郡南伊豆町湊674	TEL (0558) 62-6800
ひろみ	〒417-0801 富士市大淵39-1	TEL (0545) 21-6600
グリーンズ修善寺	〒410-2413 伊豆市小立野100-2	TEL (0558) 74-3300
サン静浦	〒410-0106 沼津市志下344-1	TEL (055) 934-6000
椎路の里	〒410-0302 沼津市東椎路32-1	TEL (055) 927-3900
夢の樹の郷	〒411-0902 駿東郡清水町玉川183-1	TEL (055) 971-1000
みしゅくケアセンターわか葉	〒410-1107 裾野市御宿1475	TEL (055) 997-8181
いかる野	〒418-0105 富士宮市原709	TEL (0544) 54-3200
みはらし	〒414-0055 伊東市岡187	TEL (0557) 37-3804
ふれあいの下田	〒415-0013 下田市柿崎32-10	TEL (0558) 27-0700
いとうの杜	〒414-0002 伊東市湯川288-9	TEL (0557) 35-4165
サンビューみしま	〒411-0801 三島市谷田字藤久保2276	TEL (055) 983-6050
かぐや富士	〒417-0826 富士市中里2546-7	TEL (0545) 32-2150
あしたかケアセンター	〒410-0875 沼津市今沢字西畑372-5	TEL (055) 967-3711
新富士ケアセンター	〒417-0801 富士市大淵字大峯3898-1	TEL (0545) 36-2212

## 中部地区

ケアセンター瀬名	〒420-0903 静岡市葵区長尾39-5	TEL (054) 264-2221
あかつきの園	〒424-0917 静岡市清水区駒越2883-1	TEL (054) 334-5533
ケア・センターひまわり	〒424-0934 静岡市清水区村松原1-2-34	TEL (054) 336-3033
焼津ケアセンター	〒425-0062 焼津市中根新田1315	TEL (054) 623-8111
コミュニティケア高草	〒425-0005 焼津市方ノ上358-1	TEL (054) 627-5588
サンライズ大浜	〒422-8045 静岡市駿河区西島528	TEL (054) 282-2839
楽寿	〒421-2115 静岡市葵区与左衛門新田98-11	TEL (054) 296-1112
こみに	〒420-0963 静岡市葵区赤松8-16	TEL (054) 209-7000
ケアセンターゆうゆう	〒425-0052 焼津市田尻4	TEL (054) 625-0321
カリタス・メンテ	〒426-8662 藤枝市水上123-1	TEL (054) 643-1266
グリーンヒルズ藤枝	〒426-0133 藤枝市宮原420-1	TEL (054) 639-1234
エコトープ	〒428-0007 島田市島534-1	TEL (0547) 45-0111
アパロン	〒427-0047 島田市中溝町1714-1	TEL (0547) 34-2000



# 中部地区

アリス草薙	〒424-0886	静岡市清水区草薙424-7	TEL (054) 347-6511
萩の里	〒422-8018	静岡市駿河区西大谷12-5	TEL (054) 236-1155
はるかぜ	〒421-0514	牧之原市菅ヶ谷1240-1	TEL (0548) 52-7771
きよみの里	〒424-0203	静岡市清水区興津東町1829	TEL (054) 369-7700
葵の里	〒421-0135	静岡市駿河区小坂376-1	TEL (054) 257-2281
芙蓉の丘	〒421-3306	富士市中之郷2500-1	TEL (0545) 56-2311
あみ	〒421-2109	静岡市葵区福田ヶ谷73-2	TEL (054) 206-1777
コミュニティーケア吉田	〒421-0302	榛原郡吉田町川尻1700-1	TEL (0548) 34-5577
さくら	〒427-0011	島田市東町1331	TEL (0547) 33-0800
マインド	〒426-0075	藤枝市瀬戸新屋487-2	TEL (054) 643-3601
フォレスタ藤枝	〒426-0033	藤枝市小石川町2-8-13	TEL (054) 647-3833
かりん	〒421-0105	静岡市駿河区宇津ノ谷1-1	TEL (054) 268-6666
ケアセンター池田の街	〒422-8005	静岡市駿河区池田185-1	TEL (054) 267-2211
鶴舞乃城	〒424-0114	静岡市清水区庵原町3158	TEL (054) 361-1234
ユニケア岡部	〒421-1131	藤枝市岡部町内谷1473-3	TEL (054) 667-5555
エスコートタウン静岡	〒420-0821	静岡市葵区柚木90-1	TEL (054) 267-1010

# 西部地区

西山ウエルケア	〒432-8001	浜松市西区西山町411-2	TEL (053) 485-5500
三方原ベテルホーム	〒431-1304	浜松市北区細江町中川7421-1	TEL (053) 436-6600
みっかび東介護老人保健施設	〒431-1404	浜松市北区三ヶ日町宇志34-1	TEL (053) 524-2000
都ケアセンター	〒431-2102	浜松市北区都田町7555-52	TEL (053) 428-3133
なかよし	〒438-0838	磐田市小立野135-1	TEL (0538) 34-6543
エーデルワイス	〒434-0041	浜松市浜北区平口2405	TEL (053) 585-1500
ハイマート有玉	〒431-3122	浜松市東区有玉南町1436	TEL (053) 434-7877
白梅ケアホーム	〒431-1112	浜松市西区大人見町3011-1	TEL (053) 485-7711
入野ケアセンター	〒432-8061	浜松市西区入野町6417	TEL (053) 440-1200
於保老健センター	〒437-1216	磐田市一色26	TEL (0538) 58-2550
エバーグリーン掛川	〒436-0043	掛川市大池680	TEL (0537) 21-0550
すずかけの街	〒430-0918	浜松市中区八幡町181	TEL (053) 476-1156
さいわい	〒431-3423	浜松市天竜区渡ヶ島221	TEL (053) 583-1156
おおふじ五幸ホーム	〒438-0002	磐田市大久保508-3	TEL (0538) 38-5511
さくらの苑	〒438-0074	磐田市二之宮字仙水1162	TEL (0538) 33-3800
神子の園	〒436-0084	掛川市逆川100	TEL (0537) 20-0080
袋井ケアセンター	〒437-0003	袋井市萱間933-1	TEL (0538) 49-4911
まんさくの里	〒431-0422	湖西市岡崎1353-1	TEL (053) 572-3911
はまおか	〒437-1688	御前崎市池新田2070	TEL (0537) 86-8822
花平ケアセンター	〒431-2211	浜松市北区引佐町花平708	TEL (053) 542-4187
白脇ケアセンター	〒430-0846	浜松市南区白羽町1424	TEL (053) 444-3131
みかたはら介護老人保健施設	〒433-8105	浜松市北区三方原町675-6	TEL (053) 438-5886
ケアセンター芳川	〒430-0838	浜松市南区岸野町24	TEL (053) 426-0003
天王介護老人保健施設	〒435-0051	浜松市東区市野町2495	TEL (053) 423-1070
あおばケアガーデン	〒437-1302	掛川市大淵4345	TEL (0537) 48-0002
風の杜	〒437-0214	周智郡森町草ヶ谷104-1	TEL (0538) 85-1121
さわだの庄	〒439-0037	菊川市西方5511	TEL (0537) 35-8889
白梅豊岡ケアホーム	〒438-0126	磐田市下神増183-1	TEL (0539) 62-1601
ナーシングホームオンフルール	〒437-0023	袋井市高尾1439-3	TEL (0538) 45-0080
五洋の里	〒438-0234	磐田市掛塚3190-1	TEL (0538) 67-1755
長鶴の郷	〒435-0031	浜松市東区長鶴町290	TEL (053) 423-2700
あらたま	〒434-0004	浜松市浜北区宮口3152	TEL (053) 582-3211
えいせい掛川介護老人保健施設	〒436-0342	掛川市上西郷8021	TEL (0537) 20-1611
クロヤナギ介護老人保健施設	〒431-1404	浜松市北区三ヶ日町宇志34-1	TEL (053) 524-1000
鹿島の郷	〒431-3312	浜松市天竜区南鹿島36-1-2	TEL (053) 925-5019

# 介護老人保健施設の理念と役割

理

念

介護老人保健施設は、利用者の尊厳を守り、安全に配慮しながら、生活機能の維持・向上をめざし総合的に援助します。また、家族や地域の人びと・機関と協力し、安心して自立した在宅生活が続けられるよう支援します。

## 5つの 役割と機能

### 1 包括的 ケアサービス施設

利用者の意思を尊重し、望ましい在宅または施設生活が過ごせるようチームで支援します。そのため、利用者に応じた目標と支援計画を立て、必要な医療、看護や介護、リハビリテーションを提供します。

### 2 リハビリ テーション施設

体力や基本動作能力の獲得、活動や参加の促進、家庭環境の調整など生活機能向上を目的に、集中的な維持期リハビリテーションを行います。

### 3 在宅復帰施設

脳卒中、廃用症候群、認知症等による個々の状態像に応じて、多職種からなるチームケアを行い、早期の在宅復帰に努めます。

### 4 在宅 生活支援施設

自立した在宅生活が継続できるよう、介護予防に努め、入所や通所・訪問リハビリテーションなどのサービスを提供するとともに、他サービス機関と連携して総合的に支援し、家族の介護負担の軽減に努めます。

### 5 地域に 根ざした施設

家族や地域住民と交流し情報提供を行い、さまざまなケアの相談に対応します。市町村自治体や各種事業者、保健・医療・福祉機関などと連携し、地域と一体となったケアを積極的に担います。また、評価・情報公開を積極的に行い、サービスの向上に努めます。

## 静岡県老人保健施設協議会

〒431-1112 静岡県浜松市西区大人見町3011番地の1

介護老人保健施設 白梅ケアホーム 内

TEL<053>485-7711 FAX<053>485-7712

<http://www.rouken-shizuoka.jp/>